

事業概要：環境と経済が両立した「地域循環共生圏」形成事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	582,285千円 (90,030千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・脱炭素に向けた県民のライフスタイル転換への行動変容を多方面から促す ・産学官金が一体となった支援体制を構築し、中小企業のカーボンニュートラルの実現を目指す ・市町による持続可能な取組を支援し、環境と社会経済が調和する「地域循環共生圏」の形成を目指す		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 森・里・川・海の連環を再現するシミュレーションを公開し研究活用を促進。その成果をもとに普及啓発や教育・アプリ等で県民の行動変容を促す。さらに、再エネ導入支援や中小企業向け脱炭素支援体制・人材育成を整備し、地域資源を活かした取組を各地に展開して地域循環共生圏の形成を推進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・再構築した「クルポ」アプリのコンテンツを活用し、若年層を含む全世代への運動の展開（負担金）6,400千円 ・環境WEBコンテンツを活用した運動の展開（委託費）297千円 ・「企業脱炭素化支援センター」の運営（委託料）22,666千円 ・地域循環共生圏の形成に資するプロジェクトを推進する市町への支援（補助金）60,667千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①静岡県内の温室効果ガス削減率（2013年度比）（▲14%） ②再生可能エネルギー導入量（+17.4万kl） ③森づくり県民大作戦参加者数（+16,102人） ④地域循環共生圏の形成に向けたプロジェクトに取り組む市町数（+33市町）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.shizuoka.jp/ken-sei/keikaku/1040922/1068142.html

事業概要：海洋版デジタル田園都市国家構想のモデル構築事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,023,828千円 (158,024千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・海洋をテーマに、地方による先導的取組を国全体、将来的には世界へと広く展開していくことを目的とした「海洋版デジタル田園都市国家構想」のモデル構築を図る。 ・「海洋イノベーションエコシステム」を創出し、人材・事業・資金の好循環を図る。 ・「海洋スタートアップの支援体制」を構築し、経済発展の牽引役となる海洋スタートアップの早急な創出を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・「ブルーエコノミーEXPO」の開催による、スタートアップの集積、海外VCを含む国内外の投資家の参入を促進 ・「The Blue Tech Cluster Alliance」との共同研究や事業化の実施 ・研究開発の促進、成果の社会実装の場としての拠点形成に資する「駿河湾実証フィールド」の整備、推進 ・海洋スタートアップ企業の誘致・集積、創出・育成を総合的に支援、高度デジタル人材の育成、集積		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・イベントの開催・運営（推進主体への補助金）39,000千円 ・加盟機関との研究開発・事業化へ向けた取組の実施（推進主体への補助金）3,000千円 ・駿河湾をはじめとした静岡の海をテストベッドとし、海洋のデジタル化研究開発の体制を整備（推進主体への補助金）48,067千円 ・「静岡県スタートアップ支援戦略」に基づき、海洋スタートアップ企業の誘致及び新規創出を図る（推進主体への補助金）34,114千円 他		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+65人） ②海洋スタートアップ創出・誘致数（+20社） ③スタートアップ等の招致件数（+150件） ④国外機関等との共同研究件数（+32件）		
		URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・効 果検証の結果及び 改善方策への反映が 記載されているURL	<a href="https://www.pref.shizuoka.jp/san
gyoshigoto/kigyoshien/shuseki/1
040481/index.html">https://www.pref.shizuoka.jp/san gyoshigoto/kigyoshien/shuseki/1 040481/index.html



事業概要：静岡の地域資源を活かしたインバウンド推進事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	313,022千円 (31,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で落ち込んだインバウンド需要の早期回復 ・本県の観光資源を活かした誘客事業、旅行商品を造成し、滞在日数長期化や旅行消費額拡大を図る ・本県の外国人観光客受入の玄関口となる富士山静岡空港の利活用促進		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で落ち込んだインバウンド需要の本格回復及び本県の課題である滞在日数の長期化や旅行消費額の拡大を図るため、県内を周遊する旅行商品の造成及び旅行先としての認知度を向上させるためのプロモーションを実施し、国際競争力の高い観光地域づくりに取り組む。 【R8年度事業 経費内訳】 ○多様な地域資源を活用した観光コンテンツの造成・魅力発信 ・海外に向けた本県産日本酒の魅力発信（委託料）2,000千円 ・日本三霊山をテーマとした広域周遊の促進（負担金）3,000千円 ○効果的なプロモーションの実施 ・海外OTAサイトでの本県特集ページ開設（委託料）10,000千円 ・インバウンド高付加価値地域資源マーケティング（補助金）8,000千円 ・富士山静岡空港を活用した魅力発信（委託料）8,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①観光消費額（+3,664億円） ②訪日外国人平均宿泊日数（+0.6泊） ③アメリカ、イギリス、オーストラリアからの外国人宿泊者（+30千人） ④訪日外国人向け旅行商品造成件数（+36件）		
		URL ※交付金の具体的な使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方 策への反映が記載され ているURL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html



事業概要：外国人×障害者×女性 多様な人材活躍・育成事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	433,158千円 (151,760千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	障害のある人の工賃向上及び就労訓練の機会を創出し、一般就労への移行につなげていくとともに、聴覚障害児の療育体制を確立し、全国初となるパイロットセンターとしてモデル事業を実施する。女性特有の健康課題の啓発のため、フェムテックの県内企業への導入促進を図り、さらに、男女共同参画や女性活躍に関する優れた取組について横展開を図る。また、ダイバーシティ経営企業表彰や専門家等の派遣により、県内企業におけるダイバーシティ経営の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な人材の活躍を推進するため、生産性向上と就業機会の拡大、県内企業の働き方改革等を通じて環境整備を進めるとともに、社会参画を促進する。障害福祉分野では研修や伴走支援、共同生産体制の構築による生産性向上により工賃向上を図る。さらに聴覚障害児の将来の就労につながる療育体制の整備、女性の就業継続を促す環境改善、ダイバーシティ経営の普及を通じ、多様な人材の活躍と企業成長を後押しする。	 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○障害における療育体制の整備、生産性の向上 ・パイロットセンターの運営費（補助金 125,000千円） ・専門家による個別の伴走支援を実施（委託費 8,400千円） ○フェムテックの県内企業への導入促進（委託料 8,600千円） ○男女共同参画・女性活躍に関する情報発信・行動変容促進 ・事例発表会の開催（委託料 6,760千円） ○県内企業におけるダイバーシティ経営の促進 ・ダイバーシティ経営の普及促進（委託料 3,000千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①人口一人当たりの労働生産性(+696.11千円) ②海外高度人材支援事業による県内企業への内定者数(+110人) ③障害者雇用率の推移(+110%) ④フェムテックを取り入れた企業の割合(+0.3%)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方 策への反映が記載され ているURL https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html

事業概要：スポーツを通じた静岡県への誘客促進事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	137,110千円 (27,200千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光振興分野
目的・効果	本県への来訪者数と滞在日数を伸ばし、旅行消費額を高めるために以下の事業に取り組む ・プロスポーツチーム観戦と観光コンテンツの組み合わせによる周遊 ・大規模スポーツ大会の継続的な開催と、長期滞在を見据えたコンテンツづくり		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県への来訪者数と滞在日数を伸ばし、旅行消費額を高めるため、プロスポーツの強みを活かし、観戦と観光コンテンツを組み合わせた周遊促進や新たな観戦ビジネスの創出により誘客を拡大する。さらに、大規模大会の誘致や合宿プログラムの充実、武道ツーリズムの推進等により滞在日数や消費額の向上を図り、スポーツを核とした観光振興と地域活性化を推進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○大規模スポーツ大会誘致補助金により誘客を推進 10,000千円 ○協賛スポンサーや集客が見込まれる大会をモデル開催 6,000千円 ○スポーツを活用した先進的なまちづくりの取組への助成 4,000千円 ・地域が自主的にスポーツを通じた誘客促進などの取組を行うことができる体制づくりを推進 ○スポーツ医科学を活かした合宿メニューの開発 7,200千円 ・県内医療機関等と連携したモデル事業を活用		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+1,872億円） ②県内延べ宿泊客数（+705万人） ③スポーツを通じた県内外の交流人口（+626万人） ④プロチーム観戦者数（+39万人）		
	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.shizuoka.jp/ken-sei/keikaku/1040922/1068142.html		



○大規模スポーツ大会の誘致



○モデル大会の開催



○スポーツ医科学プログラムの構築



○スポーツを活用したまちづくり

事業概要：儲かる農林水産業の実現による地域経済の活性化事業

継続

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	506,545千円 (163,550千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	生産性向上による本県の質の高い農林水産物の出荷量増加と、付加価値向上の取組を行うことで、「儲かる農林水産業」の実現による地域経済の活性化を目指すとともに、農林水産物が生み出される水陸の環境を保全することで、持続可能な農林水産業を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県の豊かな自然資源と地理的優位性を最大限に活用しつつ、気候変動に対応したアボカド産地化や販路開拓により農業の稼ぐ力を強化する。また、アサリ資源回復や磯焼け対策、森づくり支援など資源保全と活用を推進するとともに、県産品のブランド化や国内外販路拡大、静岡茶の戦略的発信により付加価値向上と市場開拓を図る。					頂（いただき） しずおか食セレクション  ・県が、多彩で高品質な静岡県の農林水産物の中から、全国や海外に誇りうる価値や特長等を備えた商品を、県独自の基準により「頂（いただき）しずおか食セレクション」として認定（累計204商品） ・「頂」は、日本一高い富士山頂のイメージで品質の高さを表現するとともに、大地の恵みがありがたく「いただく」という意味	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①稼ぐ力の向上に関する事業 ○しずおかアボカド産地化プロジェクト推進事業 ・栽培実証費、マーケティング調査費他 9,500千円 ②資源の保全と活用に関する事業 ○浜名湖アサリ資源回復実証プロジェクト事業費 ・碎石敷設場における食害防除や移植手法の検討委託費 12,000千円 ③ブランディングと市場開拓に関する事業 ○県産品国内販路開拓支援事業 ・オンラインカタログを活用した商談会等の実施、テスト販売、商談力向上に関する委託費 11,010千円						
主なKPI	①静岡県の農業産出額（+155億円） ②県が販路開拓支援の取組を行った案件に参加した延べ事業者数（+16者） ③海面漁業・養殖業産出額（+22.8億円） ④適切に管理された里山林面積（+56ha）					URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

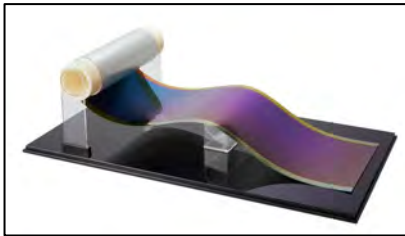
事業概要：「推し活」消費を中心とした誘客促進

継続

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	725,907千円 (237,709千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 本県は、世界遺産富士山、豊富な食材や多くの温泉地など多彩な観光資源を有しているが、平均宿泊日数や観光消費単価は全国に比べ伸び悩んでいる。 「推し活」の対象となる人気コンテンツと本県の誇る地域資源を組み合わせ、消費意欲の高い若年層などの観光需要を取り込み、平均宿泊日数と観光消費単価の向上を目指していく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「推し活」の対象となるコンテンツと本県の多彩で魅力的な観光資源を組み合わせた誘客事業、情報発信の実施や、イベント系サブスクリプションサービスの提供により、滞在・宿泊日数の長期化や現地消費額の増加を図っていく。また、二次交通の充実や受入環境の整備等により、誘客力の強化に取り組む。					 アニメ  ロケ  温泉・サウナ  スポーツ大会 <若年層の取込み（人気コンテンツ活用、スポーツ大会誘致）>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○若年層の取込みに関する事業 ・人気コンテンツ（アニメ、温泉・サウナ、ロケ等）を活用した誘客、スポーツ大会誘致事業（委託料、補助金等） 69,005千円 ○滞在時間の延長・消費拡大に関する事業 ・サブスクリプションサービスによる交流促進事業（負担金：システム運営、会員勧誘、コンテンツ開拓） 18,100千円 ○2次交通の充実・周遊促進に関する事業 ・三島駅を起点とした周遊ルート発信や駿河湾フェリーの活用（委託料等） 21,700千円 ○誘客力強化に関する事業 ・地域の文化資源の磨き上げ・魅力発信、受入環境整備（委託料、需用費等） 128,904千円						
主なKPI	①観光消費単価（+0.4万円/人） ②平均宿泊日数（+0.45日） ③スポーツを通じた県内外の交流人口（+206万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html

事業概要：次世代エアモビリティをはじめとする新たな産業活力の創出事業

継続

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,018,212千円 (667,993千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・人口減少が進む中で、持続的な経済成長を実現するためには、技術革新（イノベーション）による生産性の向上や、産業人材やデジタル人材の安定的な確保が不可欠であり、本県を支えてきた「ものづくり産業」の足腰を強化するとともに、次世代産業やスタートアップなど、本県経済を牽引する新たな産業活力を創出することにより、地域経済の持続的な発展を目指す。 ・太陽光、風力、水素といった再生可能エネルギー等の拡大をはじめ、製造業や運輸業等へのグリーン技術の導入、家庭におけるエネルギー消費の削減、環境に配慮した農林水産業の推進、環境ビジネスの拡大などの取組を通じ、グリーンシフトの実現を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・次世代自動車や航空、医療・食品などの成長分野で県内市町や地域企業とスタートアップのマッチング及び連携促進により、新製品・新サービスの創出を図る。 ・県内大学等と連携し、企業のデジタル人材を育成。 ・プラットフォーム構築や水素関連技術開発に係る補助金等により、創エネ・蓄エネ開発に取り組む。					 Courtesy of Joby Aviation. (c) Joby Aero, Inc. 次世代エアモビリティ	 スタートアップ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○新たな産業活力の創出に関する事業 511,027千円 ・県内で実施するスタートアップの実証実験支援 ほか ○デジタル人材の確保・育成に関する事業 99,008千円 ・県内大学等と連携したデジタル人材育成カリキュラム提供 ほか ○グリーンシフトの推進に関する事業 57,958千円 ・ペロブスカイト太陽電池プラットフォーム構築 ほか					 ペロブスカイト太陽電池	 展示会出展	
主なKPI	①県内スタートアップ数（+60社） ②先端産業創出プロジェクト等による事業化件数（+42件） ③先端産業創出プロジェクト等による試作開発支援件数（+40件） ④デジタル人材を確保している企業の割合（+8.2%） ⑤創エネ・蓄エネの開発に取り組む事業者数（+75者）					URL	https://www.pref.shizuoka.jp/ken-sei/keikaku/1040922/1068142.html	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：地元企業の活性化事業

継続

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	330,804千円 (124,407千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	- 市町や産業支援団体と連携を図り、地元企業への支援体制を強化し、DX（AI、IoT）やロボットといったデジタル技術の導入や事業承継による生産性の向上を支援し、所得向上を図る。 - 外国人材の活用や学生への支援による将来のものづくり人材の育成により、労働力不足の解消を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中小企業の人手不足や事業承継に伴う停滞に対応するため、DXやAI・IoT導入による生産性向上、人材確保・育成、外国人材活用を一体的に支援する。さらに、事業承継後を見据えた新規事業創出や第二創業を促進し、既存資源を活かした成長を後押しすることで、持続的な企業発展と地域経済の活性化を図る。							IoT技術実装講座
	【R8年度事業 経費内訳】 ○中小企業へのDX（AI・IoT）やロボットの導入支援 ・中小企業DX支援実証調査、中小企業者向け講座の開催（団体への補助）15,000千円 ・ロボット導入支援プラットフォームの運営費 8,400千円 ○事業承継・引継ぎ支援の体制強化 ・ワークショップ等開催費 3,000千円 ○学生への普及啓発 ・職業体験、出前講座の開催、プラットフォーム構築(委託料、人件費等) 39,230千円 ○外国人材の活用等支援 ・体制構築費 20,000千円 ・外国人材・企業とのマッチング支援（委託料等）11,000千円 ○第二創業の促進 ・次世代経営塾、アクセラレーションプログラム、ピッチイベント運営費 20,000千円					 		R7職業体験講座 （工場見学） インド・グジャラート大学での本県PR
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県ICT人材を確保している企業の割合（+7.2%） ②事業承継診断実施件数（+18,750件） ③構築する中小企業DX支援パターン数（+9件） ④職業体験講座の受講者数（+5,000人） ⑤海外高度人材内定者数（+210人） ⑥ピッチイベント登壇者数（+8人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html	

事業概要：魅力ある地域づくりによる人の流れの創出事業

継続

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	252,840千円 (97,541千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・首都圏の企業に対し、本県の魅力を発信する知事トップセールスを開催し、県外企業の誘致を強化する。 ・空き店舗などを活用して地域の課題解決につなげるリノベーションまちづくりの全県展開に向け地域の取組を支援する。 ・伊豆地域の「温泉旅館」内の遊休施設をスタートアップ企業等のオフィスとして、活用、入居を促進する。 ・移住関心層をターゲットとした情報発信や地域おこし協力隊の伴走支援により移住・定住の促進を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業誘致やトップセールスにより魅力ある雇用の創出（企業立地促進）を図るとともに、しずおかリノベーションまちづくりや温泉資源活用による地域価値や魅力の向上を推進する。さらに移住促進や多文化共生、二地域居住の拡大に加え、公共交通の最適化支援を通じてターゲット層の拡大を図り、持続可能で魅力ある地域づくりを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○企業立地促進事業 ・セミナー開催、営業ツール作成費等 37,000千円 ○しずおかリノベーションまちづくりプロジェクト推進事業 33,114千円 ・セミナー・交流会の開催、リノベーションスクール開講支援（補助金）、まちづくり塾の開催（委託費）、エリア価値向上支援 等 ○伊豆ヘルスケア温泉イノベーション推進事業 16,839千円 ・オフィス化に向けた計画策定、入居促進等の伴走支援、アドバイザー派遣等による関係者の意識啓発 ○移住・定住促進事業、ターゲット層の拡大に関する事業 10,588千円 ・情報発信、地域おこし協力隊伴走支援(委託料)、多文化共生推進関連事業費、二地域居住推進事業費						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県外からの移住者数（+450人） ②温泉旅館オフィス入居企業数（+10社） ③公共ライドシェア導入市町数（+8市町） ④県外企業の現地案内数（+6社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html

事業概要：環駿河湾観光経済圏創生事業

継続

申請者	静岡県、静岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	600,000千円 (141,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・海から富士山を望むことができる駿河湾フェリーを中心に、清水港・土肥港の拠点としての機能を強化し、両岸の人流を活性化させ、環駿河湾地域の観光経済圏を創生する。 ・清水港の賑わいづくり、土肥港側の2次交通の改善、両岸での新たなイベントの開催を通して、環駿河湾地域の観光の定番化を図り、地域経済の持続的な発展に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 周遊イベントやプロモーションの実施により、中部地区と伊豆地区との結びつきを強化し、交流を活性化させることで、環駿河湾地域全体の人流をつくり、新たな観光経済圏を創生する。 また、周辺道路や護岸整備によりフェリー利用者の利便性向上を図る。					清水地区 (賑わい創出) 駿河湾フェリー (人流の創生) 土肥地区 (魅力向上) 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 清水港の賑わい創出のための事業 ・漁港市場との連携による魅力拠点創出（負担金）16,700千円 土肥港の2次交通改善事業 ・電動スマートモビリティの運行等の実証（委託料）20,000千円 人流創生事業 ・両岸と連携した周遊イベントやコンテンツの開発（委託料）40,000千円 「海から見る富士山」のブランド化等プロモーションによる認知度の拡大 ・SNS・インフルエンサー招聘等の国内外向けPR（委託料）13,300千円 ○インフラ整備事業 港湾改修事業 51,000千円 ・観光客の増加に対応した臨港道路の整備を行う						
主なKPI	①県内旅行者の消費単価（+0.45万円） ②駿河湾フェリーの徒歩乗船客数(+3.15万人) ③清水港観光施設入館者数（+6.6万人） ④環駿河湾地域観光交流客数(+266万人)					URL	https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/keikaku/1040922/1068142.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：地域の担い手育成プロジェクト推進事業

継続

申請者	静岡県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	70,000千円 (22,600千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	首都圏在住の若者・女性や地元駐屯地の自衛官を含めた現役世代の社会人を幅広く呼び込むとともに、デジタル技術を最大活用して働きながら農業を学ぶ仕組みを構築し、観光農園拡充等を含む6次産業化推進、宿泊と連動した二地域居住の支援等を通じた関係人口の増加により、新結合の実現によって地域の高付加価値クラスターを形成し、農業を軸とした地域経済の担い手を育成・確保し、持続可能な街づくりを目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 1 首都圏に近く駐屯地を有する県東部地域をモデル地域に設定、イチゴ観光農園等の農業関連事業及び宿泊・飲食・レジャー施設等の観光業を展開する民間事業者を核とした体制を整備 2 首都圏の若者・女性、自衛官などの社会人を地域に誘致 3 農業（イチゴ、ブドウ）の栽培について、働きながら学ぶことができる仕組み（スクーリング）をデジタル技術を活用して構築 4 農業及び関連分野等の地域経済を担う人材を育成 5 コーディネータを設置し担い手の円滑な地域への定着を支援 6 二地域居住の推進や商品開発、農福連携等により地域の高付加価値クラスターを形成 7 地元金融グループのネットワーク活用により、県全体に横展開						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○誘致体制整備 コンソーシアム運営経費（委員報償費、旅費） 400千円 ○誘致の実践 周知活動・魅力発信に係る経費（委託費：開催費、消耗品費等） 2,500千円 ○システム開発 社会人が働きながら学べる仕組みの構築（委託料：システム開発費用、システム構成等検討等） 19,700千円						
主なKPI	①農業産出額（+155億円） ②新規就農者増加数(県内)（+5人） ③関連分野就業者数(県内)（+10人） ④市町や団体が行う関係人口に関する取組への参加者の増加数（+9万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

申請者	静岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	382,600千円 (118,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・A Iを活用した就農相談システムの導入や農業経営に関するオンライン研修の取組により、農業の担い手確保の促進につなげる。 ・国内外の多様な緑茶需要に対応した生産体制の構築に向けてソフト・ハードの両面から支援し「稼げる茶業」の実現を目指す。 ・漁港とその周辺にある地域資源を調査・活用し、先進企業や漁協等との連携により新たな水産業モデルを創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 AIチャットボットやオンライン研修により就農希望者の掘り起こしとDX人材育成を進め、農業参入を促進する。あわせて、茶生産の設備導入や販路開拓、異業種連携を支援し収益力を強化する。さらに水産業では、漁港資源を活用した観光や体験型事業など新たなビジネスモデルを構築し、水揚げに依存しない収益確保と地域経済の活性化、雇用創出を目指す。					新たな フィールド開拓  <てん茶生産のための 乾燥機>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①D Xを活用した農業で稼ぐ人材の育成に関する事業 ・就農相談システムの整備（委託料）5,500千円 ・経営力養成研修の実施（委託料）2,500千円 ・農業法人誘致の強化（補助金）5,000千円 ②多様な需要に対応した生産体制の構築に関する事業 ・販路拡大に向けたマッチング支援コーディネーター設置（委託料）9,000千円 ・生産体制の構築に必要な施設整備：70,000千円 ③新水産業モデルの構築推進事業 ・漁港周辺の地域資源を活用したモデル構築（委託料）12,000千円 ・新水産業を担う人材の確保・育成（委託料等）2,300千円					＜就農相談システムイメージ＞  ＜新水産業モデル構築＞ 	
主なKPI	①農業・漁業産出額（+240.6万円/経営体） ②県内事業者の茶輸輸出額（+36億円） ③沿海地区漁協における海業の取組件数（+12件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年7月公表予定

事業概要：国内外の観光交流による観光消費増加推進事業

新規

申請者	静岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	746,142千円 (248,714千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本県は、世界遺産富士山、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークなど世界水準の観光資源や充実した交通インフラを有しているが、インバウンドの旅行消費単価は全国に比べ伸び悩んでいる。富裕層向けの地域資源の活用や体験型観光による高付加価値旅行の推進を通じて、県内旅行消費額や外国人観光消費単価の向上を目指す。 ・観光とビジネス、文化、福祉など、多分野連携により経済活動を地域一体として高め、地域の観光力、稼ぐ力の向上につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県の持つキラコンテンツである富士山と他の国内でも有数の観光資源を掛け合わせ、更にシームレスな移動手段や高付加価値なホテルと組合わせたうえで、効果的な誘客事業やプロモーションを実施することで富裕層を誘客し、本県の課題となっている外国人旅行消費単価の増加を目指す。また、観光と文化体験を組み合わせた体験型観光の推進やデジタルトークンを活用したコミュニティを形成等により、地域の観光消費の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・インバウンド富裕層の誘客推進（委託料、補助金） 70,000千円 ・文化資源の観光活用・文化の力による地域活性化（委託料） 19,020千円 ・体験・交流を中心とした広域地域芸術祭開催に向けたネットワーク形成 6,200千円 ・子どもを対象とした体験型観光の促進と国際文化人材の育成（委託料、負担金等） 82,875千円 ・静岡のブランドの世界への発信と賑わいの創出（負担金、役務費等） 47,766千円 ・地域資源を活かした展覧会の開催（委託料、負担金等） 22,853千円						
主なKPI	①県内旅行消費額（+1,700億円） ②外国人旅行消費単価（+0.9万円） ③プロモーションを行った海外旅行エージェント等の数（+150件） ④1年間に文化・芸術に関わる活動を行った人の割合（+7.9%）					URL	令和9年7月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：コンテンツ産業創出推進事業費

新規

申請者	静岡県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	118,440千円 (39,480千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・若者にとって魅力のあるサービス産業関連企業を誘致することによって、進出企業と県内教育機関とが連携して人材育成を行い、育成した人材を活用してさらなる県外企業の誘致につなげるなど、企業にも教育機関にもメリットがある、誘致と人材育成とを好循環させる仕組み（エコシステム）を構築する。 ・コンテンツを中心としたサービス産業を新たに創出することより、若者の県外流出を防止し、本県の強みである製造業とサービス産業の両輪で本県の地域経済を発展させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・コンテンツ業界の事情に精通した専門家からアドバイスを聴取しながら、ターゲットとすべき分野・企業を明確化し、対象を絞った効果的な誘致を展開する。 ・企業と県内教育機関が連携して人材育成を行うことができる、企業と教育機関の両者にメリットのある仕組（エコシステム）をつくる。 ・関連企業が多く集積する都内で交流イベントを開催し、コンテンツ産業が発展していくために必要な素地があることを積極的に発信していくことにより、県外企業のさらなる呼び込みを図る。					県に進出した コンテンツ関連企業 (各地域の専門学校) ①講師派遣 ②インターン受入 ③両者連携による 地域経済発展 県内既存製造業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○誘致体制の強化 ・企業誘致専任職員配置（人件費・旅費・役務費）7,180千円 ○サービス産業誘致基盤強化 ・専門家からアドバイスを聴取（報酬、役務費、旅費）2,600千円 ・誘致対象候補分野の明確化と誘致に向けた取組（委託料）17,300千円 ○情報発信 ・交流イベント開催など対外向け情報発信の強化（委託料）12,400千円						
主なKPI	①企業進出決定数（+3社） ②関係構築企業数（+150社） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年7月公表予定

事業概要：スタートアップ協業促進事業

継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	547,300千円 (208,500千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内経済にインパクトを与えるスタートアップの呼び込みや、スタートアップと市内企業との連携を促進することで、革新的な技術やアイデアで産業構造の転換や新たな社会の価値創出を図り、次代の経済成長を牽引する新産業創出やイノベーションの推進による企業の競争力の強化や持続的な成長・発展につなげ地域経済の活性化を目指す。 ・これらを自律的・持続的に実現させるために、首都圏に広く存在する強みや成長資源を取り込み、スタートアップが地域で活動しながら事業発展を行い、新たなリソースの呼び込みと投資にまわる好循環を実現できる環境（イノベーション・エコシステム）の形成に取り組むことで、若者に魅力ある「しごと」を創出し、多様な人々や市民等による活発な活動がなされる持続可能なまちづくりを推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スタートアップ等の有する革新的アイデアや技術を活用し、地域課題解決に向けた実証実験と実装を支援する「静岡型サンドボックス」を構築する。行政・企業との共創により新たな価値創出を促すとともに、人材育成や意識醸成を通じてイノベーション人材と資源を集積し、持続的なエコシステム形成と地域経済の競争力強化を図る						
	【R8年度事業 経費内訳】 市が抱える社会課題の解決をスタートアップとの共働で取り組む「知・地域共創コンテスト」の開催 ・知・地域共創コンテスト事業運営（委託料）40,000千円 ・コンテスト選定事業等への実証事業支援金（負担金）60,000千円 市内企業とスタートアップとの協業による新規事業創出等の支援 ・オープンイノベーションプログラム運営（委託料）27,000千円 ・新規事業創出に向けた実証に対する助成（補助金）42,000千円 学生向けのアントレプレナーシップ教育のための講座等の開催 ・講座・ワークショップ運営（委託料）8,000千円						
主なKPI	①地域における新規雇用者数（+1,196人） ②本事業を通じ創出された協業・共創プロジェクト数（+89件） ③働きやすいまちだと思ふ人の割合（+5.2%） ④スタートアップや起業に関心を持つ学生の割合（+3%）					URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：インクルーシブ雇用による誰もが活躍できる都市の実現

継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和6年第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	146,848千円 (53,400千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・業務の切り出し方法等、企業へのコンサルティング支援や普及啓発を行い、就労希望者の受入れ拡大を図る。 ・デジタルツールを活用した就労希望者の能力・適性判断手法を確立し、就労準備の支援及びマッチングへの活用を図る。 ・就労希望者と企業のマッチングを支援し、多様な働き方による市内の活性化・市民の活躍推進を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①マッチング支援事業 企業へ訪問、コンサルティングを行い、本人の能力・適性にあった仕事・業務を創出しマッチング支援を行う。また、就労希望者本人向けの総合相談窓口を新規開設し、市（区）役所各窓口と連携した就労支援を進める。 ②就労アセスメントモデル事業 ケース会議や支援者の感覚・勘に頼った定性的評価ではなく、本人の生活面の能力及び就労面の能力を詳細に定量化・レーダーチャート化できるアセスメントツールにより、能力・適性に適合した仕事とのマッチングを図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①マッチング支援事業 ○企業へコンサルティング等マッチング支援（委託料） 33,000千円 ○総合相談窓口の運営（負担金） 13,500千円 ②就労アセスメントモデル事業（委託料） 6,900千円						
主なKPI	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+30%） ②企業の新規開拓数（+750社） ③インクルーシブ雇用・アセスメント手法普及イベント・連携会議等、参加者数（+1,280人） ④インクルーシブ雇用・アセスメント手法に係る研修参加者数（+620人）					URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：中心市街地活性化に向けた子どもの遊び場設置・運営事業

継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和6年度第1回募集		
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	178,000千円 (58,000千円)		
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業				
目的・効果	・子育て世帯のニーズを充足する魅力を創出し、中心市街地への来街を促す。 ・新たな民間投資を呼び込み、空き店舗の新たな活用を促す。 ・親子の来街をきっかけとした新たなにぎわいづくり、中心市街地の活性を図る。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ＜静岡地区中心市街地＞ ○地域主体の実行委員会を立ち上げ、空き店舗を活用した子どもや子育て世帯向けの学びの場及び子どもの遊び場づくりを行う。 ○補助制度を創設し民間投資を誘導する。 ○子ども・子育て世帯を対象とした店舗の出店への補助を実施する。 ＜清水地区中心市街地＞ ○地域主体の実行委員会を立ち上げ、子育てイベントの実施や空き店舗を活用した子どもや子育て団体の活動の場づくりを行う。 ○子ども・子育て世帯を対象とした店舗の出店への補助を実施する。								
	【R8年度事業 経費内訳】 ＜静岡地区中心市街地＞ ・子どもの遊び場設置・運営事業（負担金） 25,000千円 ・子育て関連施設出店支援事業補助金 5,000千円 ＜清水地区中心市街地＞ ・子どもの遊び場設置・運営事業（負担金） 28,000千円 ・子育て関連施設出店支援事業補助金【再掲】 5,000千円								
主なKPI	①静岡市の総人口（▲6,941人） ②歩行者通行量（静岡地区）（+1,124人/日） ③歩行者通行量（清水地区）（+304人/日）					URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html		

事業概要：持続的な観光地域づくり・ブランディング推進事業

継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	360,115千円 (137,427千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市ならではの観光コンテンツの造成支援を行い、観光消費額の向上及び市内滞在時間の向上を目指す。 ・ターゲットに向けたプロモーションと受入環境の整備を通じて、国内外の観光客の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の地域資源を活かした観光コンテンツ造成・提供を目的とした、意欲ある市内事業者の取組を支援するとともに、客数増加と旅行単価向上を図るためブランドイメージ確立を推進する。美食・絶景・歴史など地域資源を活かした体験型コンテンツ創出や茶農家の受入体制整備、インバウンド向けプロモーション、Web強化、クルーズ客対応を一体的に展開し、誘客拡大と満足度向上を目指す。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 (魅力づくり／体制づくり) ○SDGsのー美食・絶景・歴史ー感動体験のまち創造事業 ・コンテンツづくりのための伴走支援（委託料） 70,000千円 ○お茶ツーリズムを活用した誘客促進事業 ・茶農家受入環境整備（補助金） 5,000千円 ・お茶ツーリズム観光プログラム造成専門家派遣（委託料）5,000千円 ・民間企業と連携したセミナー・イベント開催等（負担金他）12,000千円 等 (情報発信) ○インバウンド向けプロモーション、商談会の参加 ・台湾市場プロモーション- 認知・関心拡大施策-（委託料）5,000千円 (クルーズ客対応) ○清水港客船誘致員会負担金（負担金） のうち、観光案内所等の運営強化分 25,779千円 ○JR清水駅周辺地区インバウンド受入環境整備事業（委託費）6,500千円 等					 	
主なKPI	①地域における観光消費額 +450億円（'28） ②外国人延べ宿泊客数 +21万人泊（'30） ③1人あたり観光消費額（日帰り）+3,500円（'30） ④1人あたり観光消費額（宿泊）+7,000円（'30） ⑤クルーズ客1人あたり観光消費額 +6,000円（'28）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	137,700千円 (57,700千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の目指す歴史観光振興の拠点として駿府城跡天守台の野外展示をデジタル技術を用いて魅力あるコンテンツに育て上げる。これにより、観光消費額の向上及び市内滞在時間の延長、地域経済活性化とともにシチズンプライドの向上をも目指す。 ・デジタル技術により制作するVR・ARは、観光に加えて教育、産業振興、人材育成にも活用していきたい。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の地域資源である駿府城において実施された天守台の発掘調査の成果を活かしデジタル技術により、ありし日の駿府城天守等を再現し、歴史資源を活用した観光や子供たちの学びに有効利用するため高精細CGを作成する。CGを利用したVRを制作し、別途整備を進めているガイダンス施設内のシアターにて上映する。さらにARを制作し、駿府城公園及びその周辺エリアで実際の石垣などと一体で可視化し、歴史を切り口とした観光客の周遊に活用できる環境をと整える。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○「駿府城跡天守台野外展示事業（VR・AR制作）環境整備・運用」 ・システム構築に係る経費（多言語コンテンツへの対応を含む） 22,500千円 ・着地型観光やインバウンド客向けのモデルツアー実施委託 2,000千円 ・コンテンツを活用したプロモーション 1,430千円 ○シアターでのVR上映に係る経費（システム構築経費） 31,770千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+450億円） ②観光消費額単価（日帰り客）（+257円） ③駿府城公園施設年間来場者数（+98,338人） ④駿府城公園施設来訪者の満足度（+8.52%） ⑤駿府城関連施設への再訪意向（+21.0%） ⑥歴史観光を目的とした来訪者率（10.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

事業概要：ガストロノミーツーリズム推進事業事業

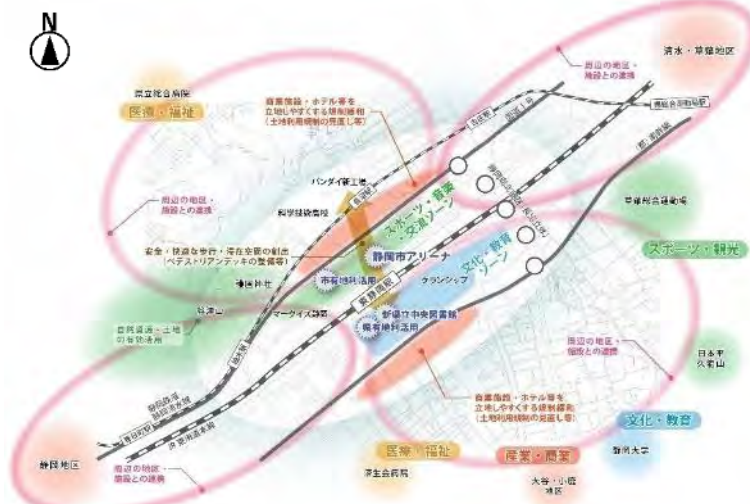
継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	74,760千円 (28,710千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市には、南アルプスから駿河湾までの標高差5,500mの自然の中で育まれた豊かな食材があるが、それを十分に生かし切れていない。来訪者がその背景にある歴史や食文化に触れながら、食の豊かさを未来に繋げていく“静岡市ならではのガストロノミーツーリズム”を推進し、食による地域での観光消費額の増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 静岡市は食を軸としたブランドイメージ確立を目指し、「JIMIガストロノミーズオカ」を推進する。生産者や料理人等による体制構築、シェフアワード等による発信、高付加価値な食体験の造成、国内外へのプロモーションを一体的に展開し、食目的の来訪者増加と地域での消費単価向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○推進体制の維持・継続 1,760千円 ・静岡市ガストロノミーツーリズム推進協議会の運営、セミナー開催 ・ガストロノミーツーリズムアドバイザー招聘 ○食のブランドイメージの確立 17,000千円 ・静岡ベストシェフアワードの拡大 ・食フェスの開催 他 ○高付加価値な食体験コンテンツの造成 4,000千円 ・産地のくらし体験プログラム ○プロモーションと地産地消のサイクル 5,950千円 ・「JIMIガストロノミーズオカ」ブランディングツール作成 ・食関連イベント等へのブース出展						
主なKPI	① 1人あたり観光消費額における「飲食代」(+1,215円) ② 食を目的とする観光客の割合 (+4.75%) ③ 飲食に2万円以上消費する人の割合 (+2.5%) ④ 「ふじのくにSDGs認証」取得市内飲食店の数 (+50店舗)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	284,400千円 (100,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・物流の2024年問題を背景に改正された法令で設けられた規制的措置等に対応し、生産性の向上に積極的に取り組む物流関連事業者を支援することで、本市域内における物流の効率化を推進し、持続可能な物流を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 物流の2024年問題に対応するため、関係団体や事業者によるネットワークを構築し、輸送効率化と生産性向上を推進する。あわせて、設備投資等を支援する補助金の交付や専門家による助言・制度活用支援を行い、荷待ち時間削減や積載効率向上などの取組を促進し、サプライチェーン全体の効率化と事業者経営の安定化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○物流効率化に向けた生産性向上支援 ・物流効率化等生産性向上支援事業（補助金）96,000千円 ・専門家による相談・制度活用促進（委託料）3,868千円 ○物流の2024年問題に対応する関係者ネットワークの構築 ・会議開催経費（報償費・旅費）132千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性 （一人当たりの労働生産性が向上した企業の割合）（+270%） ②補助金を交付した事業者の件数（+165件） ③専門家による相談支援延べ件数（+450件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

事業概要：東静岡地区まちづくり推進事業

継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	7,140,360千円 (388,760千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	東静岡地区は、静岡市都市計画マスタープランにて副都心地区として位置づけられ、今後、アリーナの整備や新県立中央図書館の移転が予定されていることから、民間投資の動向など、エリア全体のまちづくりを公民共創で進め、若者・子どもが未来に希望を持てるまちを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 東静岡地区に多目的アリーナを整備し、プロスポーツや大規模コンサートを開催できる新たな交流拠点を創出することで、まちの魅力向上と交流・定住人口の拡大を図る。併せて、官民連携によるまちづくり計画の策定や土地利用転換により民間投資を促進し、地域活性化を推進する。さらに、ペDESTリアンデッキや駅前広場の整備により安全で快適な歩行空間と回遊性を確保し、防災機能の強化や雇用創出、経済波及効果の最大化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・東静岡地区まちづくり基本計画策定等経費 57,760千円（委託料） 地区全体の交通計画策定、AIオンデマンド交通の実証運行 等 ・ペDESTリアンデッキ等整備経費 25,000千円（委託料） 駅前の交通広場を含めた道路空間基本設計 等 ○拠点整備事業 ・静岡市アリーナ整備経費 基本・詳細設計 56,000千円（設計料） ○インフラ整備事業 ・ペDESTリアンデッキ整備 250,000千円（設計料） 実施設計、用地関係調査 等						
主なKPI	①静岡市の人口減少数（▲40,061人） ②（仮称）静岡市アリーナの年間来場者数（+669.1千人） ③JR東静岡駅および静岡鉄道長沼駅の乗降客数（+986人） ④市民意識調査で「静岡市は活気があり、人を惹きつける魅力がある」と回答した市民の割合（+11.2%） ⑤AIオンデマンド交通の総利用者数（+12,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	10,360千円 (4,860千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・高齢化社会の進展に伴い増加する医療機関への受診、保健福祉機関のサービス利用の移動需要への対応として、乗車時間が短く、長距離の歩行の必要がない利便性の高い民間主体の公共交通を導入する。 ・保健福祉サービスを総合的に提供する基幹拠点における交通空白を解消し、健康な生活を送るために不可欠な市民サービス提供の支障を解消する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存バス路線の廃止に伴い、ターミナル駅である静岡駅と各総合病院・保健福祉サービス提供拠点を短時間で結ぶ小型車両による民間主体の路線を導入し、短時間・高頻度運行の実証事業により需要や採算性を検証する。 導入実現のため、まず、市が実証実験により路線の需要、収支等の事業採算性を確認し、実証結果を民間事業者と共有、必要な支援や制度を官民で検討・整備する。実証後は条件を整理し、民間主体の路線として本格運行へ移行し、交通空白の解消と高齢者等の移動負担軽減を図る。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 小型車両による路線運行の事業採算性を確認するための実証実験委託料 4,860千円 (機器費、人件費、燃料費、車両使用料、運行管理費等、運行経費から運賃収入を差し引いた額を支出)						
主なKPI	①公共交通機関利用率（+0.000233%） （総人口に占める公共交通機関の1日当たり 利用人数の割合） ②新たな路線の利用者数（+57,840人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：工芸品海外販路開拓事業

継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	67,000千円 (27,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 工芸品産業の国内出荷額の増加を図るとともに、海外市場への訴求活動を通じて、工芸品に対する新たな需要を生み出し、持続可能な工芸品産業の形成を目的とする。 - 工芸品を観光や教育に資する地域資源として再定義することで、「工芸のまち」としてのブランド創成に取り組むこととする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 静岡市の地域特性と歴史文化を内包し、緻密で繊細な工芸品に新たな価値を吹き込み、訪日外国人や海外在住の人が高い対価を支払ってでも購入したいと思えるような製品を創り出す事業。静岡市の食や景勝地、伝統工芸などの地域資源を活かし、海外市場を見据えた高付加価値な工芸品の創出と販路拡大を図る。関係者によるチームでブランド戦略を策定し、試作・検証を重ねながら商品開発を推進し、さらに海外での展示・販売やテストマーケティングを通じて需要を把握し、最終的に持続的な輸出体制の確立と職人産業の活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 市場の反応を検証するため、展示販売会への出展事業、工芸品市場の商品調査に関する事業及び試作品開発事業に係る委託料（人件費、通信運搬費、会場設営費等）。 ・テスト販売費（委託料）14,500千円 ・商品および生産調査費（委託料）4,500千円 ・企画運営費（委託料）3,000千円 ・商品開発費（委託料）5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地元工芸職人年間工芸品出荷額増加率（+5%） ②海外市場での商談成立件数（+20件） ③小売店や代理店販売先の確保件数（+3件） ④事業参加地元工芸職人数（+5人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

事業概要：動物を介した交流拠点整備事業

継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	327,890千円 (35,801千円)	
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	「動物を介した交流拠点」を整備し、訪問者やイベント参加者、動物ボランティア団体及び静岡県中部5市2町等による交流人口を増やす。 - 訪問者1人1人への動物愛護に係る普及啓発や、動物ボランティア団体等と協働し犬猫の適切な飼養推進及び動物に対する理解増進を図ることにより、「人と動物が穏やかに共生できるまち」を実現することで、本市に新たな魅力を付加する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存施設を解体し、動物愛護センターの移転整備とあわせて、人と動物が共生する交流拠点施設を新設する。犬猫とのふれあいルーム、ドッグラン、カフェ、多目的イベント空間などを整備し、譲渡会や各種イベントを通じて来訪動機を創出する。これにより市民や来訪者の交流促進、地域コミュニティ形成、動物愛護意識の向上を図り、交流人口の増加と持続的な施設活用を目指す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 建物、隣接ドッグランにおける設計、施設施工開始 ・建築物本体工事 交流拠点整備 14,188千円 ・既存施設解体工事 21,613千円							
主なKPI	①地域の交流人口（+3,876人） ②協働する動物関連団体数（+2団体） ③交流拠点におけるイベント実施数（+18回）					URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html	
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：旧足久保小学校を活用した交流拠点整備事業

継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	300,000千円 (34,699千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 旧足久保小学校を改修し、地域の豊かな自然環境や静岡茶発祥の地という歴史を活かした交流拠点として整備することで、観光消費額の増加を図る。 - 周辺の資源を活かしたアクティビティや季節に応じたイベントを実施し、地域の自然の魅力を発信する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 廃校となった学校を観光交流拠点施設として再整備する。静岡市に不足している団体向けの宿泊機能を新たに整備するとともに、オートキャンプ場、飲食店、ドッグランなどを整備し、周辺の資源を活かしたアクティビティやイベントを実施する。また、新東名高速道路の新静岡ICから約10分、市街地から約30分という立地の良さを活かし、国外を含めた広域からの来訪者の誘致を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 宿泊機能を整備するための備品や、キャンプ利用者に向けた備品など、宿泊者に向けた備品を完備し、宿泊施設としての基本機能を持たせるとともに、周辺を散策するための電動自転車を完備し、利用者の利便性、満足度の向上を図る。 ・ 宿泊機能等の備品整備 34,699千円						
主なKPI	①本施設により発生する地域の観光消費額 (+230,136千円) ②本施設の売上金額 (+262,795千円) ③近隣施設や地域住民等と連携した体験ツアーやプログラム等の作成数 (+4件)					URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：清水庵原地区ユニバーサルスポーツ聖地化事業

継続

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	801,635千円 (742,323千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・競技種目としてのユニバーサルスポーツに限らず、健常者スポーツとパラスポーツの垣根を越え、清水庵原地区「エリア全体」で多様な人が幅広い種類のスポーツ競技に取り組むことが出来る環境を目指す。 ・「清水ナショナルトレーニングセンター」と「IAI パラスポーツパーク」の中間地点にある清水庵原球場敷地内に障がいの有無に関わらず誰もが利用可能な屋内運動場を整備し、庵原地区全体をユニバーサルスポーツの『聖地』として進化させ、首都圏・関西圏からの利用拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 障がい者が優先的に利用することのできる市営の屋内運動場を清水庵原球場敷地内（静岡市清水区）に新設（設計・建設）する。近隣の施設と合わせ、健常者・障がい者の垣根を超えた交流型のスポーツ施設環境を構築し、庵原エリア全体としての面的スポーツ機能の充実を図るとともに交通アクセスの良い地域性を活かし、地域の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 清水庵原球場敷地内に屋内運動場を整備 施設整備 742,323千円（建設） ・テント構造による屋内運動場建設 ・人工芝敷設等室内環境整備 ・屋外給排水整備、電源供給設備、監視カメラ、消火設備設置 ・バリアフリートイレ他、段差解消対応等出入口整備 等						
主なKPI	①地域の交流人口数（+32,000人） ②障がいのある方の16歳以上の週1日以上スポーツ実施率（+22%）					URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：「静岡市のお茶」ブランド力向上事業

新規

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	46,728千円 (17,516千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・静岡市産茶の強みを明確化し、価格競争に依存しないブランド価値の確立を図る。 ・市産茶の販売量及び販売単価の向上を通じて、茶業者の所得向上と産出額の増加を実現し、地域経済を支える基幹産業としての茶産業の持続性を確保する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 茶農家、茶商をはじめとする茶業関係者とともに、茶葉生産地としてのブランド力と収益力の向上を目的に、静岡市のお茶に関する市場調査・分析を行い、分析結果に基づくマーケティング戦略を構築し、戦略に基づいた事業展開を行う。また、市産碾茶・抹茶の品質の高さを科学的に解明するとともに、栽培から加工までのプロセスを改良し、他産地との差別化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・マーケティング戦略構築、テストマーケティング等に係る委託費 12,592千円 ・碾茶成分分析委託費 3,300千円 ・圃場賃借料 240千円 ・土壌改良に係る耕作依頼及びポジショニング把握に係る報償費 540千円 ・分析検体となる各産地の茶葉及び土壌及びバイオ炭購入費用 550千円 ・茶葉及び土壌を分析機関に発送する通信運搬費 50千円 ・コンソーシアムの設立・運営経費 244千円						
主なKPI	①静岡市における荒茶及び碾茶の出荷額（+12億円） ②静岡市における年間農業所得目標（500万円）を達成した認定農業者（茶）の割合（+10%）					URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：儲かる有機農業の実現による地域経済の活性化事業

新規

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	98,366千円 (65,896千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・有機栽培の取組拡大、高価格・安定的販売環境の整備、消費の拡大及び低未利用資源の有効活用を通し、儲かる有機農業の実現を目指す。 ・儲かる有機農業の実現により、静岡市の農業を持続的に発展させ、中山間地を含めた市全体の地域経済活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①有機栽培の取組拡大 生産量の増加と品質の安定化を実現するため、専門機関を講師とした実証圃場での栽培指導を行う。 ②高価格・安定的販売環境の整備 市場での取り扱い量増加を目指し、市内量販店での販売実証や一次加工機能の実用化及び物流の効率化に向けた検証事業を実施する。 ③消費の拡大 消費者に有機農産物の意義を伝え、積極的に選んでもらえるよう消費者向けイベントや認証制度の構築に取り組む。 ④低・未利用資源の有効活用 市内で発生する食品残渣を活用した肥料開発により、安定的な肥料供給体制を構築し、環境負荷の低減と生産者のコスト削減を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①有機栽培の取組拡大（印刷製本費、委託費等） 14,381千円 ②高価格・安定的販売環境の整備（人件費、役務費等を含む負担金、委託費等） 50,165千円 ③消費の拡大（貸借料） 350千円 ④低・未利用資源の有効活用（開発・製造・運搬に係る委託費）1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡市の農業出荷額（+930万円） ②耕地面積に占める有機農業面積割合（+0.6%） ③専門機関の栽培方法を学んだ生産者（+9人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要： デジタル関連企業誘致事業

新規

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	173,020千円 (69,910千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・首都圏での企業誘致活動を展開するとともに、「都市スキャンデータの作成・公開」や「XRスタジオの活用」といったデジタル技術の実装・実証フィールドを構築することで、デジタル関連企業、人材の集積を図る。 ・デジタル関連企業や人材の集積により、若者の市内定着に繋げるほか、市内電気機械製造業、プラモデル製造業といった特色ある地域産業の高付加価値化と競争力強化を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 展示会への出展や業界メディアを活用したPRといった、主に首都圏での企業誘致活動を行うとともに、都市スキャンデータの作成やXRスタジオの活用など、デジタル技術の研究開発・実証を継続的に実施できる環境を構築し、関連企業、人材の集積に繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・業界誌を活用したPR活動（展示会出展等）に係る委託費 4,000千円 ・ツアーや個別視察などの企業誘致活動に係る委託費 3,710千円 ・デジタル人材の育成に係る経費 報償費：4,500千円 賃借料：1,200千円 負担金：1,500千円 ・都市3Dスキャンデータの作成・公開に係る委託費 40,000千円 ・XRスタジオ活用にかかる委託費 10,000千円 ・企業・クリエイター向けセミナー・交流会の開催 5,000千円 (報償費3,310千円 等)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①企業誘致による新規雇用者数（+100人） ②首都圏から静岡市への新規進出企業数（+10件） ③市内企業における都市スキャンデータやXRスタジオを活用したコンテンツ制作件数（+6件） ④クリエイティブコミュニティへの参加者数（+100人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

事業概要：駿河湾を活かした海・空の技術革新・産業創生のためのB Xテストベッドエリア構築事業 ※静岡市のBX（Blue Transformation:海・空の技術革新や社会変革）

新規

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,363,364千円 (122,329千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・海と空の実証環境を一体的に整備・運用する共通基盤（テストベッド）を核として、外部企業・スタートアップ、地元企業、大学・研究機関が集積・連携する環境を構築し、地域産業クラスターの形成を目指す。 ・研究開発・実証を通じた協業を継続的に創出し、実証成果の事業化や新規法人開業につなげる。 ・実証から事業化までを地域全体で支える体制を構築し、産業の付加価値向上と競争力強化を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 清水港沖、折戸湾および三保飛行場を一体的に活用したテストベッドを整備・運営し、研究開発・実証を継続的に実施できる環境を構築する。具体的には、テストベッド全体の施設・機能像や運営体制を整理する計画策定を行うとともに、実海域テストベッド候補水域の調査、浅海域における環境整備、外部企業と市内企業とのマッチングを実施する。また、観測・通信ブイや音響測位システム、格納庫や支援施設等の整備により、実証を安全かつ継続的に行える基盤を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・BXテストベッドエリア構築計画策定事業（委託料）22,000千円 ・清水港沖実海域テストベッド候補水域検討事業（委託料）25,682千円 ○拠点整備事業 ・（仮称）三保スカイノベーション拠点格納庫設計（委託料）13,051千円 ・（仮称）折戸湾マリンステーション設計（委託料）15,000千円						
主なKPI	①静岡市全体の法人の開業数（+80件） ②テストベッド強化を通じた企業・大学・研究機関の新規立地件数（+14件） ③テストベッド利用件数（+1,048件）					URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：東海道における街道観光の推進

新規

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	234,424千円 (45,623千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・宿場町の通過型観光から体験型・滞在型観光への転換による静岡市の観光消費額の増大 ・文化財建造物の利活用によって、将来にわたる建物の保存と活用という好循環を生み出す ・本市取組を他宿場へ横展開することによる、東海道全体を歩いて楽しむという体験価値の付加や周遊促進といった相乗効果の創出						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 東海道の宿場・峠・文化施設等を連結し人の移動や滞在といった「行動」を後押しするデジタル基盤（周遊促進ツール、WEBでの提供を想定）の整備を実施する。 あわせて「静岡市文化財保存活用地域計画」における「蒲原地域」にある文化財建造物の改修・利活用を連動して進め、デジタル基盤上の立寄地点として設定することで宿場町の滞在延伸及び消費額の増大に係る検証を行う。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・デジタル基盤開発及びリリースキャンペーンの開催（委託料）28,600千円 ・国登録有形文化財 旧五十嵐歯科医院等文化財建造物を活用したまちづくり検討に係る会議開催（報償費、旅費、委託料）964千円 ・蒲原地域 国登録有形文化財 3館における収益事業検証（委託料）10,185千円 ○拠点整備事業 ・国登録有形文化財 志田家主屋 耐震工事設計（委託料）3,949千円 消防設備工事（修繕費）1,925千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①静岡市の観光消費額（+3,056億円） ②静岡市における1人あたりの観光消費額(+11,724円) ③周遊登録者数（デジタル基盤登録者数65,000人） ④蒲原宿 来訪率（+75%） ⑤蒲原宿 平均滞在時間（+120分） ⑥施設入場者数（+1,934人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

事業概要：労働力人口維持に向けた定住促進事業

新規

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	136,428千円 (12,200千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・保護者同士や地域住民との交流が生まれる場を創出することで、子育て期における不安軽減や孤立防止を図る。 ・子育てしやすい環境づくりを進め、子育て世代の地域への愛着や満足度を高めることで、若年層及び子育て世代の定住を促進し、生産年齢人口の向上を図り、市内産業を支える労働力の安定的な確保につなげる。 ・労働力の確保により、企業活動の継続や新たな投資を促し、地域経済の好循環に繋げ、地域の産業競争力を高め、将来にわたり活力を維持する「強い経済」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 静岡市では、高齢化や人口減少が進んでおり、生産年齢人口の中でも特に若年層・子育て世代の減少率が高いことがわかった。また、市民アンケートの結果から、若年層・子育て世代の定住意向が低い傾向にあることが明らかになった。 生産年齢人口（労働力人口）と地域経済の活力の維持に向けて、子育て環境を向上し、子育て世代の市内定着を促進するため、子育て世代のニーズが高い、こどもが安全に、かつ主体的に遊びながら成長できる「こどもの屋内型遊び場」を新たに整備する。					イメージ（改修後） 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 こどもの屋内遊び場整備 12,200千円 既存建物を改修し、遊び場施設を整備する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①生産年齢人口（▲15,737人） ②新たに整備する施設の経済波及効果（+6,000万円） ③住み続けたいと思う回答の割合（+20%） ④新たに整備する施設の利用者数（+36,597人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html

事業概要：地域経済の活性化に向けた子育て世帯の外出機会創出事業

新規

申請者	静岡県静岡市					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	371,188千円 (45,416千円)	
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・子育て世帯の外出機会を創出することにより、地域内での人の流れや滞在時間を生み出し、周辺の商業施設やサービス業等への回遊や消費行動を促進する。 ・平日・休日を問わず安定的に人が集う拠点を形成し、子育て世帯にとって「訪れやすく、滞在しやすい地域」としての評価を高める。 ・子育て世帯が日常的に外出し、地域で過ごす時間を増やし、子育て環境の充実と生活満足度の向上を図る。 ・外出・消費機会の創出を起点として、生活満足度向上、地域経済の活性化と定住・回帰を促進し、地域の持続的発展を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 統廃合により遊休資産となる旧保健福祉センターを活用し、子育て世帯向けの屋内型遊び場を整備する。 大型遊具や休憩・授乳スペース等を備え、天候に左右されず安全に遊べる環境を提供することで外出機会を創出し、子育て満足度の向上を図る。あわせて周辺への回遊や消費を促し、地域経済の活性化や交流人口の増加、定住促進につなげる。					イメージ（改修後） 		
	【拠点整備事業】 ・建築物本体工事 屋内型遊び場整備 45,416千円 既存建物を改修し、こどもが体を使った遊びができる屋内型遊び場施設を整備する。							
主なKPI	①総人口（▲26,980人） ②新たに整備する遊び場の経済波及効果（+1億4,300万円） ③子育てしやすいまちだと思う回答の割合（+20%） ④新たに整備する遊び場の利用者数（+67,095人）					URL	https://www.city.shizuoka.lg.jp/s2934/s013039.html	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：Local Coop構想を活用した共助による地域づくりプロジェクト

継続

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	73,480千円 (15,180千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・税収に頼らず、住民が地域の中でともに助け合いながら豊かに生活できる仕組みを目指す。 ・地域内外の住民が、ともに助け合い地域を支える地域づくりを目指す。 ・中山間地域の持続可能な地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中山間地域の天竜区水窪地区において、人口減少や高齢化に対応するため、住民主体の共助の仕組み「Local Coop」を構築する事業。住民対話、関係人口の参画、事業創出の段階を経て、地域資源を活用した農業や資源循環などの事業化を進める。また、新たな法人を核に、地域内外の人材や企業と連携し、持続可能な地域経営とコミュニティ再生を図り、公助を補完する新たな自治モデルの確立と地域活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○Local Coop実装及びLocal Coopを活用した事業設計委託料（人件費、調査費、消耗品費等） 15,180千円 ・住民対話の場づくりと組織運営 ・食と農にまつわる生物多様性・文化多様性に資する事業立ち上げ ・堆肥循環実証						
主なKPI	①住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合（天竜区）（+43.1%） ②アナログ・デジタル両面においてプロジェクトに参加する人数（+245人） ③「Local Coop構想」に賛同する企業件数（+19件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/yaramaika/suishin.html

事業概要：観光で稼ぐ！浜松推進プロジェクト

継続

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	342,176千円 (149,444千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 本地域でしか体験できない旅行商品を造成し、富裕層向けに誘客事業を実施することで、本地域への来訪と滞在期間延伸を促し、本地域の観光消費額の増大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 高付加価値旅行者の誘客拡大を軸に、観光消費額の向上を目指す総合的な観光施策。欧米豪向け商品の造成や通訳ガイド育成、海外メディアや友好都市との連携による戦略的プロモーション、市場ニーズに即した情報発信を展開する。さらに、宿泊施設誘致調査や夜間観光、二次交通の整備により受入環境を強化し、滞在時間の延長と周遊促進を図る。加えて歴史・文化資源やバイクツーリズム、MICE誘致など多様な施策を組み合わせ、観光客数と消費単価の双方の拡大を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・ 高付加価値旅行者受入環境整備促進事業(負担金) 5,000千円 ・ ナイトタイムエコノミー促進事業(補助金等) 15,000千円 ・ 歴史的資源を活用したプロモーション(委託料) 5,000千円 ・ 海外戦略広報事業(委託料等) 46,604千円 ・ 海外現地連絡員事業(委託料) 12,240千円 ・ 首都圏魅力発信イベント開催事業(委託料) 5,650千円 ・ 家康公ゆかりの地浜松誘客イベント開催事業(委託料等) 21,500千円 ・ 浜松城と茶事による観光誘客事業(負担金) 4,100千円 ・ 気賀関所町木戸門柱修繕工事(工事費等) 26,163千円 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 一人当たり旅行消費額 (+7,065円) ② 宿泊者数 (外国人) (+307,518人) ③ 宿泊者数 (日本人) (+681,443人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：みんなで推進する中山間地域の振興プロジェクト

継続

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	25,576千円 (7,869千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・中山間地域の歴史や文化、景観等を保全することにより地域の魅力を高め、広く情報を発信することで、中山間地域に市内外から人を呼びこみ、賑わいを創出する。 ・中山間地域の魅力が高まることで、移住者の増加が見込まれるだけでなく、地域住民が誇りをもって生活できるようになる。 ・中山間地域の農林業等の産業振興を図ることで、住民が住み続けられる環境を整備する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 移住促進や中山間地域の活性化を目的に、動画配信による魅力発信や交流機会の創出、若者・子ども向け文化芸術活動を実施する。さらに、プロモーション映像制作や愛称募集、若者との対話を通じて地域への関心と愛着を高め、観光面では周遊マップ作成や駅前イベントの開催により誘客と回遊性を向上させ、林業体験事業も展開する。これらの取組を通じて交流人口の増加と担い手育成、地域経済の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ハマライフIU・オン・デマンド事業（委託料）1,745千円 ・天竜区次世代アーティスト育成事業（委託料）2,778千円 ・中山間地域・ミライカレッジ事業（報償費等）200千円 ・天竜区周遊マップ作成事業（委託料）385千円 ・天竜二俣駅前賑わい創出事業（負担金）1,765千円 ・天竜美林フィールドワーク開催事業（委託料）996千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市の事業を活用した中山間地域への移住者数（+115人） ②中山間地域の振興につながる事業提案・立案数（+3件） ③天竜二俣駅前のイベント来場者数（+4,300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

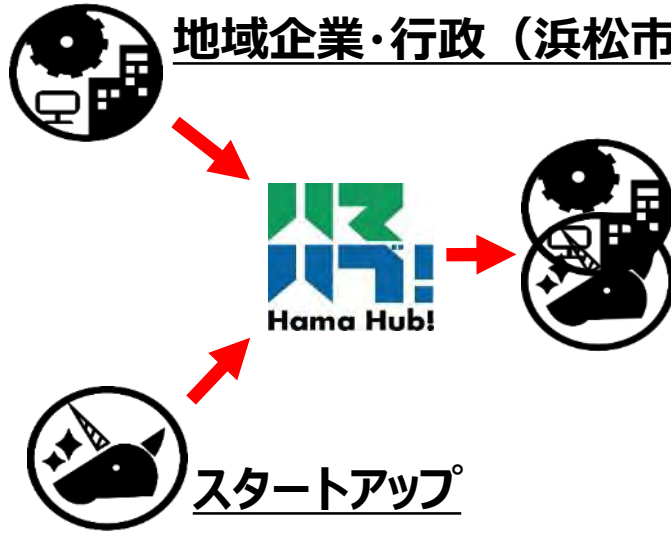
事業概要：外国人材と共に世界の市場へ

継続

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	125,212千円 (41,426千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	インドをはじめとする意欲的な外国人労働者を受け入れることで、本市の企業における深刻な人手・人材不足を解消するとともに、イノベーション創出や世界市場への展開を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 インドとの連携強化を図り、人材確保や産業振興を推進する。 市長による現地訪問や自治体・企業との交流、MOU締結などを通じて人材交流やビジネス連携を促進する。また、高校とインド大学の連携やインフルエンサーによる情報発信により相互理解を深め、移住・就労を促す。さらにスタートアップ交流や支援デスク設置により企業間協業と技術活用を進め、地域企業のイノベーション創出と高度人材の受入拡大を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・インド政府機関等との交流（旅費等） 11,566千円 ・インドの大学と本市市内高校との連携事業（費用弁償） 187千円 ・インドスタートアップ関連事業（委託料） 4,923千円 ・浜松イノベーション支援デスク運営事業（委託料） 24,750千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人労働者数（+135人） ②外国人労働者の受け入れ企業数（+327社） ③浜松イノベーション支援デスクによる 浜松地域企業への支援企業数（+15社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：スタートアップの創出と次代への承継事業

継続

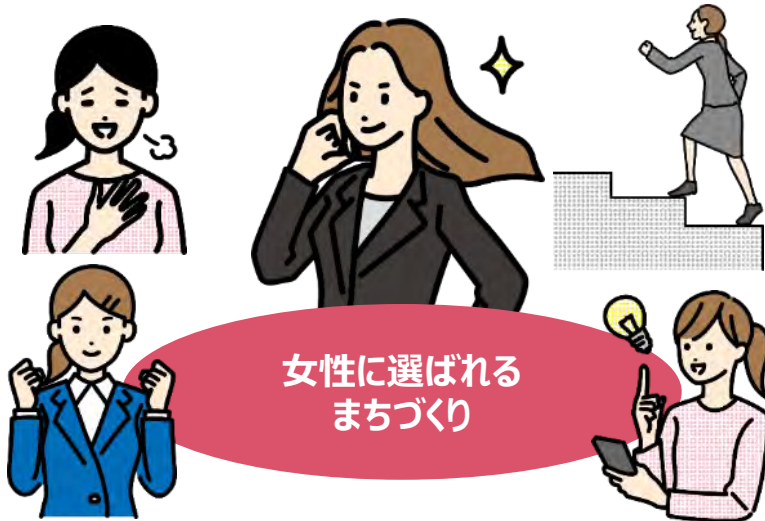
申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	232,024千円 (85,213千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 優れた技術や経営資源を持つ市内企業と革新的なアイデアを持つスタートアップのマッチング環境を整備することにより、地域産業が活性化され、新たなイノベーションが次々と生み出される都市を目指す。 - 第三者が事業を引き継ぎやすい環境を整え、起業家や創業希望者による事業承継につなげ、市内企業の事業存続及び持続的な発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 行政とスタートアップ、地域企業とスタートアップの連携を促進するマッチング環境を整備する。 浜松市や市内企業がスタートアップと連携したいテーマを専用Webサイト上で募集し、継続的な協業機会を創出するとともに、実証実験への補助金や伴走支援を新たに実施する。さらにイベントによる機運醸成や企業ニーズ調査を通じて、事業承継や企業立地の課題把握を進め、地域企業の課題解決と産業活性化を図る。					 地域企業・行政（浜松市） Hama Hub! スタートアップ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○行政×スタートアップ、地域企業×スタートアップのマッチング環境の整備 ・委託料 56,213千円 ○スタートアップとの連携プロジェクトの支援 ・ソリューションの実証実験的導入支援、実証実験プロジェクト支援（伴走支援：無）（補助金）5,000千円 ・実証実験プロジェクト支援（伴走支援：有）（補助金）24,000千円						
主なKPI	①市内地域企業等と全国のスタートアップとのマッチング数（+100件） ②事業承継普及件数【2020～累計】（+900件）					URL	令和8年8月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

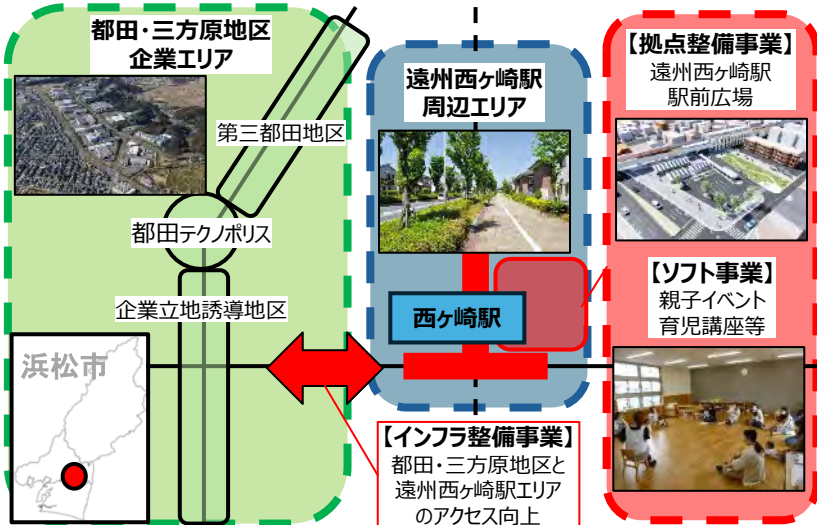
申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	89,634千円 (23,747千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農山漁村の環境整備を進めるとともに、農林水産物の生産性向上から販売力強化まで、総合的に支援することで多様な担い手による持続可能な農林水産業構造の実現と、活力ある農山漁村振興を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 水産・畜産・農業分野において、生産性向上と販売力強化、担い手育成を一体的に推進する。 養鰻業のスマート化やアサリ資源回復、ICT活用による有害鳥獣捕獲支援により省力化と効率化を図るほか、畜産環境対策で経営安定を支援する。さらに海外販路拡大やカーボンクレジット、茶のブランド化で収益向上を目指すとともに、経営塾や団体支援により人材育成と体制強化を進め、持続可能な地域農林水産業の確立を図る。					 農業経営塾の様子	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○農業経営塾開催事業 講師謝礼 1,875千円、会場使用料 132千円 ○海外販路拡大事業 補助金 2,000千円 ○水産業持続化促進事業 負担金 6,840千円 ○農業者団体の体制強化対策事業 委託料 8,900千円 ○ICT活用捕獲活動支援事業 補助金 1,000千円 ○提案型畜産環境・衛生対策支援事業 補助金 3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内の1農家当たりの農業産出額（+309千円） ②水産業協同組合の組合員当たりの年間取扱高（+301千円） ③年間間伐実施面積（+6,000ha）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

農業経営塾の様子

事業概要：女性に選ばれるまちプロジェクト

継続

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,439千円 (17,528千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	持続可能な都市経営を維持するために、若い女性の転出超過を抑制することを目的として、文系女子への就職等へのPRなどを通じて女性の雇用ニーズのミスマッチを解消するとともに、近年、女性の社会進出が進む中で、顕在化してきた問題の解決を図るため、女性の心情に寄り添った取組を実施することで、「女性にやさしい、暮らしやすいまち」を実現し、「女性に選ばれるまち」を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「女性に選ばれるまち」を目指し、若い女性の流出抑制と地域の持続的発展を図る。「暮らし」と「仕事」はセットであるため、市内で活躍する女性による魅力発信や起業支援、リスキング講座等により本市での継続的な活躍を促進するとともに、企業向けセミナーや職場環境整備への補助、子育て支援企業の表彰により働きやすい環境を促進するなど、女性が活躍できる環境や働きやすい職場環境を整える。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・浜松市で活躍している女性による魅力発信事業（委託料）1,987千円 ・女性が安心して活躍できる環境づくり事業費補助事業（補助金）6,000千円、（印刷製本費・手数料）375千円 ・企業向け女性活躍推進セミナー事業（委託料）1,074千円 ・働く女性のためのリスキング講座等開催事業（委託料）1,980千円 ・女性に特化した起業支援セミナー開催事業（委託料）1,941千円 ・文系女子活躍促進事業（委託料）840千円 ・はままつ子育て世代活躍企業コンテスト等事業（委託料）3,331千円						
主なKPI	①20歳から24歳までの若い女性の転出超過数（▲90人） ②女性のUIターン就職数（マッチングアドバイザーによる女性内定者数）（+22人） ③男女共同参画社会の実現に向けた取組の満足度（+8.7ポイント）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	800,700千円 (150,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「企業が集積する都田・三方原地区」と「自然と便利もある地方都市のくらしが可能な遠州西ヶ崎駅周辺」の各ポテンシャルを最大限活用し、「多様なしごと」と「豊かなくらし」を実現することで、若者・女性の転入者の増加に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 遠州西ヶ崎駅周辺において、交通結節機能と交流拠点を一体的に整備し、住みやすい地域づくりを推進する。 駅前広場や歩行空間の整備によりアクセス性と公共交通利用を向上させるとともに、多目的交流空間を整備し子育て世代の交流や滞在を促進する。さらにイベントや情報発信を通じて若者や移住希望者の関心を高め、利便性とゆとりある生活環境を備えた地域として定住・交流人口の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 アクセス向上のための道路整備 ・市道西ヶ崎72号線外整備事業 150,000千円						
主なKPI	①20歳から24歳までの若者の転入者数（+60人） ②遠州西ヶ崎駅周辺エリアの居住人口（人口増加）（+30人） ③遠州西ヶ崎駅の乗降客数(人/日)(+230人） ④暮らしやすさに対する住民満足度（80%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：浜松発スタートアップ創出支援事業

新規

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	587,568千円 (195,856千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・全国又はグローバルから突出した技術・ビジネススキルを持つ人材を本市へ誘致し、“浜松生まれ”“浜松育ち”のスタートアップを支援・育成することを通じ、地域経済の活性化を促進する。 ・スタートアップに対して地域の金融機関からの資金調達がしやすい環境を整備するとともに、ベンチャーデットによる資金調達をしたスタートアップに対して成長を加速させるため、ベンチャーデット活用事業による成長支援を実施する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市でのビジネスを展開する意欲があり、かつ、本市産業と親和性の高い人材を対象に、地域のキーパーソンの紹介等の本地域での事業展開に向けた事前調査を支援する。最終的に本市でのビジネス展開の確度が高まった者に対し本社登記等を条件とした交付金の交付、フォローアップを行う。また、市内本社や市内に主要な事業拠点を持つスタートアップに対し、本市が認定した金融機関から、EXIT等の本市での成長に向けたベンチャーデットによる資金調達と協調し交付金を交付することで成長の加速を促すとともに、財務管理や人材紹介等のフォローアップによる企業の体制強化を促す。					① 本市でのビジネス展開に関心のある者を公募 (ものづくり型 等) ② 事前調査支援プログラム (市内でのビジネスの実現可能性を探索) ③ 事業着手支援交付金 (本市への移住、本市での起業等) 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・浜松発スタートアップ創出支援にあたる事前調査・事前調査支援対象者の選定及び支援（委託料） 30,000千円 ・事業着手の支援（交付金） 15,000千円 ・ベンチャーデットによる資金調達に係る支援（委託料） 10,856千円、（交付金） 140,000千円						
主なKPI	①浜松本社のスタートアップ数（+84社） ②浜松本社のスタートアップの資金調達総額（+72.5億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：まちの顔となる中心市街地の価値向上プロジェクト

新規

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	198,869千円 (83,187千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「商業機能の空洞化」や「中心市街地の魅力不足」、「まちなか全体の回遊性の向上」といった構造的な課題に対し、事業を展開し、市民が豊かなくらしを送るうえで欠かすことのできない、まちの顔である「中心市街地の価値の向上」を図り、「歴史、文化、未来に触れ、豊かさを実感する世界水準のまち」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 空き区画やオフィス需要の調査により実態を把握し、空き店舗活用支援やスタートアップ育成により新規出店や事業創出を促進する。また、ワークショップや実証事業で人材育成と公共空間活用を進め、情報発信やイベント支援、人流データ分析により来街者の回遊性を高める。さらに駅南地区のまちづくり指針策定も含め、にぎわい創出と持続的な都市機能向上を図るなど、様々な施策を分野横断的・一体的に実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・まちづくり人材育成事業(委託料) 5,500千円 ・賑わいワークショップ実証事業(委託料) 5,000千円 ・デジタル活用による人流データ調査事業(委託料) 5,000千円 ・中心市街地空き区画等調査事業(委託料) 2,275千円 ・位置情報を活用した来街促進事業(委託料) 3,000千円 ・駅南地区まちづくり指針策定業務(委託料) 20,020千円 ・エリアリノベーション推進事業(負担金補助及び交付金) 21,000千円 ・まちなか賑わい創出支援事業(負担金補助及び交付金) 5,000千円 ・浜松市まちなか魅力発信事業(負担金補助及び交付金) 8,692千円 ・スタートアップ成長支援事業(委託料) 7,700千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①まちなか滞在者数 (+18,040人) ②公共施設利用者数 (+91,383人) ③低未利用地面積 (▲1,481㎡) ④新規出店件数 (+6件) ⑤まちなか公共空間活用数 (+6件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：地域を担う人材の就労・定着促進プロジェクト

新規

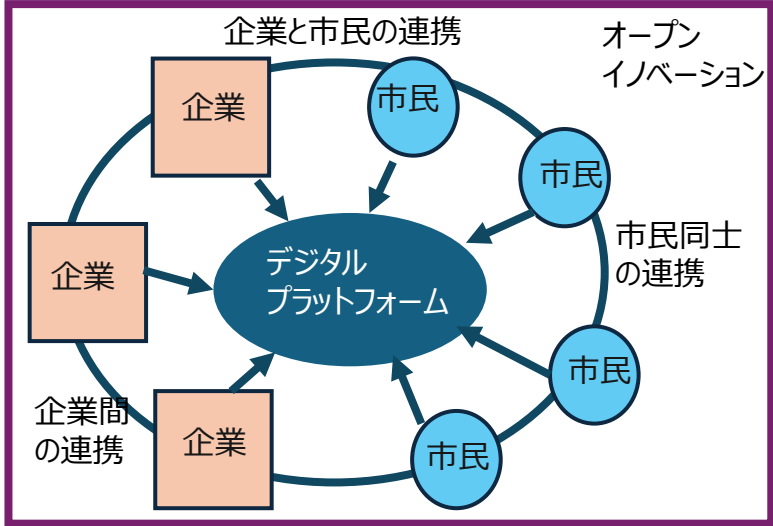
申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	105,280千円 (44,380千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若い世代や子育て世代の女性、理数系人材など、多様な人材が活躍できる環境の整備を進めるとともに、多様なニーズに合致した企業文化の醸成や柔軟な働き方の定着を図ることで、人口流出の抑制と地域経済の活性化を実現し、活力ある地域社会と強固な産業基盤を兼ね備えた、魅力的で持続可能な都市としての発展を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内企業における労働力不足の現状や要因を客観的に把握し、今後の労働政策および企業支援施策の立案に資する基礎資料を得るため、実態調査を実施する。 あわせて、高校生・大学生等の若年者を対象とした市内就職促進事業、次世代理数系人材の育成・確保、ならびに子育て世代の就労意欲の醸成および就労・定着支援に向けた取組を実施する。						(イメージ) 合同企業説明会
	【R8年度事業 経費内訳】 ・若年者市内就職支援事業（委託料）26,400千円 ・雇用就労環境実態調査事業（委託料）12,180千円 ・子育て女性就労意識醸成事業（委託料）2,300千円 ・次世代理数系人材育成事業 ＜高校生数学コンテストOB・OGフェスティバル（記念大会）＞ （委託料）3,500千円						(イメージ) 高校生職場体験
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内総生産額（実質）（+2,600億円） ②高校生及び保護者向け合同企業説明会への参加者数（+3,300人） ③大学生インターンシップ促進事業への参加企業数（+60社） ④職場体験・インターンシップイベントの参加人数（+24人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

申請者	静岡県浜松市					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	130,865千円 (42,664千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・ブランド化や新品種栽培等を通じて、農林水産品の付加価値向上を目指す。 ・地域全体で包括的なサポート体制を構築し、副業や半農ビジネスなど新たな農業の担い手確保を目指す。 ・地域産業の1つである農水産業が持続可能な環境を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農林水産物の付加価値向上、担い手確保や持続性確保の課題を解決するため、ブランド化への投資に対する補助の実施や、茶農家が海外輸出に対応可能となるような生産シフト、気候変動に対応できる新品種栽培に関する支援を実施する。また、副業や半農ビジネスなど新たな農業の担い手確保のための環境整備に取り組む。加えて、持続性確保のため、林業の生育状況調査や畜産農家への支援を実施する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・農林水産物ブランディング支援補助金事業（補助金） 20,000千円 ・多様な担い手確保育成事業（委託料） 5,391千円 ・茶海外戦略展開支援事業（補助金） 4,921千円 ・森林資源循環可能性調査事業（委託料） 6,070千円 ・気候変動に対応するための新品種栽培の支援補助金事業（補助金等） 1,282千円 ・畜産業暑熱対策事業（補助金） 5,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内の1農家当たりの農業産出額（+300千円） ②農林水産物ブランディング支援事業補助金申請件数（+30件） ③新規農地権利取得者数（+393人・社） ④年間間伐実施面積（+6,000ha） ⑤年度における7月～9月の3か月間の死亡頭数の割合（-6.2%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		令和8年8月公表予定

事業概要：デジタルプラットフォームでつなぐまちづくりの担い手ネットワーキング事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県沼津市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	53,213千円 (21,457千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・市内企業がまちづくりに携わることで、企業の価値向上とまち魅力増進を実現する。 ・労働者や学生を含む市民が、まちづくりに取り組みながら主体的に暮らすことでウェルビーイングを実現する。 ・市民や企業の多様な活動がまちづくりデジタルプラットフォーム上で可視化され、ネットワークが形成される。 これらの動きにより転出リスクを下げ、新たに人を呼び込み、地域の人口減少に歯止めをかける。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内企業のこれまでのまちづくりへの参画成果を踏まえた担い手の存在を模索し、自立的に活動されるよう誘導していく。また、学生も含む市民の活動を、企業が新しい取組の参考にする等、デジタルプラットフォーム上で可視化されたネットワークが生む自立的なサイクルを回していく。デジタルプラットフォームの財源確保に取り組み、持続的・自立的なプラットフォーム継続を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ◎企業版リノベーションスクールの実施（委託料8,130千円、需用費187千円、使用料150千円）◎実行協議会に対する補助（補助金1,500千円）◎企業や学生を含めた市民の活動をマッチングするイベント開催（委託料990千円）◎まちづくりデジタルプラットフォーム導入のほか、まちづくり成功体験を植え付けるワークショップ業務実施（委託料10,500千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（▲3,900人） ②企業新規プロジェクト数（+25件） ③市民新規プロジェクト数（+30件） ④まちづくりデジタルプラットフォーム登録者数（+600人）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL http://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/machi/index.htm		



事業概要：女性に選ばれる地域づくり事業

新規

申請者	静岡県沼津市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	5,350千円 (550千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業では、若年女性の流出という構造的課題に対し、単なる啓発に留まらず、「地場産業の労働力確保」と「女性の視点による産業の付加価値向上」を直結させることで解決を図るものである。職場におけるジェンダーギャップ解消に取り組む企業が増えることで、投資の観点からも選ばれる企業（＝強い地場産業）を育成し、地域経済の持続的な拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 女性に選ばれる地域づくりにつながる取組を調査・研究、企画・実施する。 若者、特に女性が、仕事と子育て・介護・社会活動等を含む生活との両立のしづらさを感じることなく働き続け、キャリア形成やリスキリングの機会を得ながらその能力を十分に発揮することができる環境、社会に変えていく必要がある。本事業により、職場におけるジェンダーギャップ解消による働きやすく働きがいある環境づくりの調査研究、女性の能力発揮のための支援、市内企業や事業所に対する女性が働きやすく働きがいある環境づくりに対する支援に中長期的に取り組む。					女性に選ばれる地域づくり事業 地域・職場 ジェンダーギャップ解消 企画・実施 地域の多様な主体が参画 中長期的な視点 調査・研究 効果検証	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「女性に選ばれる地域づくり」手法とりまとめに関する調査・研究 講師派遣手数料：275千円 ・「女性に選ばれる地域づくり」産官学労士住民など地域の多様な主体が参画した報告会運営業務委託料：275千円						
主なKPI	①若年女性（20歳～39歳）人数の前年比較における差分数（+526人） ②女性に選ばれる地域づくりを向上させる新たな取組の実施数（+3件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：持続的ウェルビーイングが実現する熱海ふるさと創生事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県熱海市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	70,323千円 (22,491千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・旧学校施設をハブ機能の拠点として活用し、まちづくり会社を中心に地域住民と域外の人的資源との連携を図る。 ・地域資源を活用した交流促進事業を展開し、移住定住の促進と交流人口・関係人口の増加を図る。 ・住民の豊かな暮らしを実現するため、地域の魅力を育み、人が集う地域を構築し、地域の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 【オフィス事業】 旧学校施設の交流スペース、テナントオフィス及びコワーキングスペースを活用したビジネスマッチングと域内外の交流の場の提供 【地域資源を活用した交流促進事業】 ①地域資源を活用した体験イベント等の実施による域内外の交流事業の実施 ②自然を活用した体験プログラムを実施するインタープリターの養成 【エリアリノベーションまちづくり事業】 ①各地区で課題の整理を行い、地域の在り方を創造していくエリアリノベまちづくりを実践するエリアリノベーション会議を開催。 ②エリアリノベーションビジョンの策定		 【伊豆山地区】 土石流災害を受け、弱体化した地域力を再構築するため、地域の資源と人材を活用した産業振興を図るとともに、持続的な地域社会の構築を図る。 【中心市街地】 リノベーションまちづくりの推進エリアを拡張し、クリエイティブ人材の活躍の場を広げていく。 【南熱海地区】 産業、生活全般にわたり衰退の一途をたどる地区において、地区の市民活動等の拠点であった旧学校施設を活用し、他エリアからの人的資源等と連携し、地場産業の振興や雇用の創出、移住促進、空き物件の活用に取り組み、地区の持続的な活性化を図る。
	【R8年度事業 経費内訳】 ・オフィス事業（委託料）4,724千円 ・地域資源を活用した交流促進事業（委託料）8,417千円 地域資源を活用した体験イベント等の実施交流事業の実施、インタープリターの養成講座の開催、コミュニティセンターの運営。 ・エリアリノベーションまちづくり事業（委託料）9,350千円 熱海地区のエリアリノベーションビジョン策定及びエリアリノベーション会議の開催。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（+14人） ②リノベーション事業から生まれた起業・創業者数（+7件） ③テナントオフィス稼働率（+75%） ④網代地区の空き物件が利活用された件数（+6件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.atami.lg.jp/shisei/keikaku/1001311/1017783.html

事業概要：地域資源を活用したシティプロモーション推進事業

継続

申請者	静岡県三島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,000千円 (10,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ロケ誘致や撮影支援を行う官民連携の受け入れ体制を整備し、市内ロケ件数の増加を図る。 ・映画・ドラマ等のファンの「聖地巡礼」による誘客を促進させ、市内観光消費額増額を図る。 ・本市ファンの増加を促進させ、ふるさと納税件数や移住相談を通じた移住者数の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○ロケツーリズムによるシティプロモーションの推進人材育成 実績活用のための権利処理等のセミナー（行政・観光協会・商工会議所・飲食宿泊業など運営向け）、郷土愛醸成のための市民向けシンポジウム等を開催する。 ○ロケ誘致の推進 映像制作者向けの広報やロケハンツアーの企画・運営、PR動画の作成を行う。 ○ロケツーリズム広報・PR活動 市内外向け情報発信・広報活動						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・外部専門家講演会・セミナー開催 2,530千円 ・情報発信・広告企画業務費用 2,200千円 ・ロケハンツアーの企画・運営 1,155千円 ・PR動画の制作費用 3,300千円 ・記事・広告掲載 815千円						
主なKPI	①市内観光交流客数増加に伴う消費額（+5,772百万円） ②ふるさと納税件数（+4,500件） ③移住相談を通じた移住者数（+75人） ④ロケ誘致件数（+30件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.mishima.shizuoka.jp/kanko_content054336.html https://www.city.mishima.shizuoka.jp/kanko_content059432.html

旧制度（推進）

申請者	静岡県富士宮市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	38,600千円 (12,280千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革
目的・効果	・人口減少が避けられない中、眠れる労働力（育児休暇者、介護離職者、高齢者、外国人、引きこもり、生活困窮者など）が地域社会とつながり、その能力を発揮できる社会を構築する。多様な人材・働き手と企業・団体等の受け入れ側のミスマッチを解消し、働き手は「自由な時間にいつまでも働ける」状態、企業や団体等は、人手不足や担い手不足を補うことで、「誰一人取り残さない」市民全員が地域社会で活躍できている状態を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 3年目の年は、主にボランティア活動や農業体験などから社会に参画し、短時間就労へと徐々にステップアップできるよう、福祉分野に重点を置いた広告を打つなど、地域社会に参加・復帰するための出口戦略を強化する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○社会参加促進事業 ・市公式求人サイト運営費（委託料）3,980千円 ○中小企業人材確保事業 ・事業承継支援ツール管理費（委託料）1,600千円 ・就業支援サイト構築（委託料）1,200千円 ・採用力強化・機会創出支援事業（委託料）5,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①求職者一人当たりの労働生産性・・・（+9,310円） ②福祉コーディネータが企業・団体とマッチングさせた人数・・・（+72人） ③市公式求人サイトにおける就業マッチング件数・・・（+2,825件） ④SDGsプラットフォームへ取組を掲載した企業・団体数・・・（+25者）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.city.fujinomiya.lg.jp/sp/municipal_government/visuf8000001rq07.html http://www.city.fujinomiya.lg.jp/municipal_government/iiosmo0000001dop.html

事業概要：若者のチャレンジを応援するまちづくりプロジェクト～スイーツのまちづくりに向けて～

継続

申請者	静岡県富士宮市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	30,700千円 (11,300千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	このプロジェクトでは、現在、富士宮市に存在する富士宮市ならではの地域資源（食材）をスイーツに特化し、地域資源と首都圏からスイーツに関わる人材をマッチングさせること、市内企業のブランディング力向上を図ること、若者の人材育成を図ることで新たな菓子店舗の創業につなげ、地域経済の活性化及び地域の担い手確保を目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 生産者や事業者間での連携が不足しているため、マッチング会など交流を図ることで事業者同士のコラボレーションが進み、新しい商品やサービスの発生を狙う。また店舗としてのコンセプトやパッケージデザインを学ぶこと各店簿のブランディング力向上を図り、スイーツのまちとしての統一したブランドイメージに合意形成をしていく。また、地元企業の魅力を知ったこどもたちに地元で働くイメージを持ってもらうため、実際に店舗に立つなど職業体験を通してシビックプライドの醸成を狙う。					 地域特産品を使った商品	
	【R8年度事業 経費内訳】 <ソフト事業> ・事業者向け研修、SNS運営支援、講習会等（委託料）1,100千円 ・マッチング会等運営（委託料）300千円 ・スイーツ祭りの実施（委託料）2,500千円 ・キャリア教育（委託料）1,000千円 ・デジタルスタンプラリー構築・運営（委託料）4,000千円 ・デジタルマーケティング（委託料）1,000千円 ・女性をターゲットにした魅力発信事業（委託料）1,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口社会減の緩和（+108者） ②ふるさと納税返礼品（スイーツ）寄附額（+1,098千円） ③スイーツのまちづくり関係人口創出数（+1,500人） ④デジタルスタンプラリー登録者数（+650人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（移住定住ポータルサイト） https://www.fujinomiya-life.com/ （効果検証） https://www.city.fujinomiya.lg.jp/municipal_government/iiosmo0000001dop.html

事業概要：富士山と一緒に地域の文化や自然を未来へつなぐ関係人口創出事業

新規

申請者	静岡県富士宮市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	48,940千円 (13,380千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・居住の有無に関わらず、地域文化や自然・森林・景観保全の担い手として継続的に関わる人々を、本市が目指す最も深い関係人口の層と位置付け、人口減少下においても、富士山麓を中心とした自然・景観及び地域に根付いた文化を持続的に維持・継承できる地域社会の実現を目指す。 ・U25コミュニティ創出事業（みやこBase）を通じて、若者が帰省時等に「短期ジョブ（マイクロインターン）」等の形式で地場産業に深く関わる仕組みを構築し、企次世代の地域の担い手を着実に確保し、若年人材の感性やスキルを地場産業に取り込むことで、既存産業の付加価値向上やイノベーションを後押しする。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 ①実態把握で関係人口の基盤を整備する。 ②自然・文化の参加機会を創出する。 ③地域の受入意識を醸成する。 ④体験から関与へ導く。 ⑤若年層の継続的関係を構築する ⑥自然環境保全を推進することで、関係人口を担い手へ育成し、持続的な地域づくりを実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 制度運用に必要な企画設計、調査・分析、運営支援、関係主体との調整等の人的・専門的業務を含む委託料に係る経費。 ・体験型ウェルネスツアー（委託料） 2,000千円 ・U25コミュニティ創出（みやこBase）（委託料） 1,980千円 ・関係人口向けデジタル情報発信事業（委託料） 4,000千円 ・生物多様性地域戦略実施事業（委託料） 1,000千円 ・関係人口実態把握・基盤構築事業（委託料） 4,400千円						
主なKPI	①関係人口創出数（総数）（3,470人） ②地域課題解決プログラム（保全活動・ワークショップ等）への参加者数（200人） ③ふるさと住民制度プレミアム登録の会員数（135人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fujinomiya.lg.jp/municipal_government/iosmo0000001dop.html

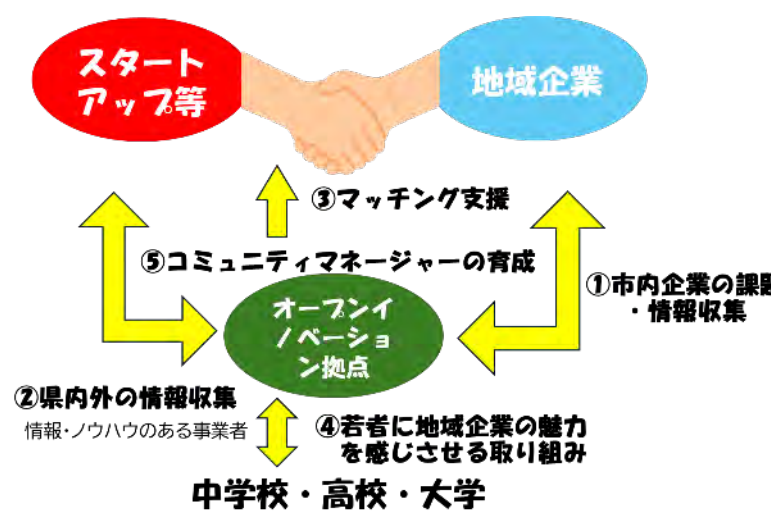
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：島田市ゆかりの著名人等による地域の魅力発信・愛着醸成事業

継続

申請者	静岡県島田市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	37,501千円 (9,524千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・本市ゆかりの著名人が関わる文化芸術公演を実施することで、市外からの来訪者を獲得し内外に対し地域の認知度向上を図る。 ・著名人らを媒介として地域住民自身が地域の歴史・文化の魅力を認識し外部に発信できるような交流事業やワークショップを開催し、シビックプライドの醸成に繋げる。 ・地域の歴史・文化・人材を生かした事業を幅広い個人・団体を巻き込みながら展開し、人的ネットワークに裏付けされた活力ある地域の形成に寄与する。							
事業概要・主な経費	【事業概要】 ・本市ゆかりの著名人の持つ専門分野を活用した市民参加型のワークショップを開催。映像制作や話芸の技法の体験機会を通じて、自ら地域の魅力を発信する市民を育成する。 ・落語、ショートフィルム上映会等の文化公演を実施 ・実施を契機として当該著名人と地域との繋がりの新規構築						 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・市民参加型ワークショップ開催経費 事業費 1,662千円 ・島田市ゆかりのある著名人等による地域繋がり創出及び地域資源PR 事業費 7,862千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①島田市の転入人口（+300人） ②島田市が好きな市民の割合（+1.89%） ③島田市公式SNSフォロワー数（+4,800名） ④事業参加者へのアンケート結果のうち「大変よかった」と回答した人の割合（+15%） ⑤島田市を知っていると答えた割合（+6%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimada.shizuoka.jp/gyosei-docs/dai2sedai-koufukin.html

申請者	静岡県島田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	71,190千円 (23,730千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・付加価値創出型の地域経済実現に向け、市内企業が抱える課題解決等を支援することで地域経済の活性化と持続的成長を目指す。 ・市内企業が市場競争力を獲得し、地域経済全体がより高付加価値な製品・サービスを創出（更なる付加価値向上を支援）し、既存クラスターの拡大を目指すことで、若者や人材が魅力を感じる持続可能な社会を構築させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 下記の業務に関連する経験・実績、ネットワーク構築力、コミュニケーションスキル、コーディネート力のある事業者へ委託し、事業期間内に自走して継続していくことができるよう運営体制を構築する。 ・市内企業とスタートアップと学生をつなぐオープンイノベーション拠点を設置する。 ・産業支援センターが、地域外の革新的な技術・ノウハウを呼び込むオープンイノベーションのハブとなり、市内企業の課題解決に向けて外部企業とのマッチングを支援する。 ・地元高校生等、若者と市内中小企業の交流機会を創出し、若者が地域企業の魅力を感じ、島田で働きたい・挑戦したいと思えるような機会の創出。 ・市内の高校生・中学生及び県内大学生に対する起業家教育や大学との連携						
	【R8年度事業 経費内訳】＜ソフト事業＞ 中小企業の稼ぐ力を高めるための支援に要する経費23,730千円 委託料：21,270千円（本事業に係る運営委託、広報業務委託） 需用費：237千円（本事業に係る消耗品、印刷費） 賃借料：2,064千円（本拠点に係る建物賃借料、コピー機リース料） 役務費：159千円（本拠点に設置する電話・ネット回線費用）						
主なKPI	①支援を受けた市内企業の付加価値額の増加（+75,000千円） ②市内企業、スタートアップ等のオープンイノベーション拠点の登録者数（+300者） ③スタートアップ企業と地域企業とのマッチングによるプロジェクト件数（+9件） ④学生の交流事業の参加者数（+90者） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimada.shizuoka.jp/

事業概要：フィールドワーク等活性化事業

継続

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	41,949千円 (13,894千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・大学生等によるフィールドワークを呼び込むことにより、若い世代の人口確保だけでなく、地元への優れた人材の輩出や、まちづくりをはじめとする様々な課題の解決を目指す。 ・市内でのフィールドワーク創出により、外部から大学生等を呼びこみ、知の集積を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内でのフィールドワークや研究活動の実施に係る費用を補助するとともに、ゼミや学生からフィールドとして選ばれるための普及啓発事業を行う。（PR動画の作成等） また、大学生と地域企業等がビジネスプランを策定する取組を支援し、交流促進の機運醸成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・フィールドワーク普及啓発事業（委託料）7,354千円 ・フィールドワークを実施してもらうための活動資金（補助金）1,800千円 ・地域課題解決調査研究（委託料）3,000千円 ・フィールドワークセンター運営（需用費）90千円 ・学生によるビジネスプラン作成支援（委託料） 1,634千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若者人口 （+80人） ②フィールドワークセンター利用人数（+500人） ③フィールドワーク実施件数（+70件） ④フィールドワークを継続したい割合（+30%） ⑤ビジネスプランに取り組む大学生の数（+32人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1005050000/p007712.html https://furariba.fujicity.jp/ (令和8年7月公表予定)

事業概要：田子の浦港にぎわい創出事業

継続

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	56,987千円 (23,600千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・田子の浦港のにぎわい拠点が集中するプロムナードエリアで、行政や港湾関係者、民間団体とともに、イベント等を開催することにより、交流機会の創出と自立的で持続可能なにぎわい拠点の形成を目指す。 ・プロムナードエリアと鉄道駅間でシャトルバスの運行やレンタサイクルスポットを設置することにより、プロムナードエリアへのアクセス向上と市内経済への波及を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 プロムナードエリアでイベント等を開催する民間団体等に対する補助、エリアの活用推進となるイルミネーションを地元企業や民間団体等と協働で開催する。また、記念事業等の開催に際し港湾関係者等と連携を強化し、にぎわい創出を促進する。さらに、交通利便性向上のため、近隣駅からのシャトルバスの運行やレンタサイクルスポットを設置する。						
	【R8年度事業 経費内訳】<ソフト事業> ○民間主体によるイベント創出 ・イベント等開催補助（補助金）2,100千円 ○田子の浦港プロムナードエリアの活用推進 ・エリア全体を彩るイルミネーション実施（委託料）9,000千円 ○記念事業等を活用した機運の醸成 ・開港60周年記念事業及び外国客船歓迎事業（負担金）10,000千円 ○観光拠点における交通連携ネットワークの創出 ・シャトルバスの運行、レンタサイクルスポットの設置（委託料）2,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①プロムナードエリアのにぎわい創出事業（本事業）実施に伴う市内経済波及効果額（+2億5,800万円） ②プロムナードエリアのイベント等の出店店舗数（+27店） ③プロムナードエリアの交流人口数（+9万人） ④シャトルバス・レンタサイクル等の利用者数（+5,100人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1005050000/p007712.html (令和8年7月公表予定)

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：富士市版スタートアップ・エコシステム形成事業

継続

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	63,044千円 (20,547千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・イノベーションの創出を先導する富士市版スタートアップ・エコシステムを形成し、産学官金等の連携を推進して、企業の付加価値向上や競争力強化を図る。 ・若者の就労や外部人材・企業との共創を促進し、DX等のスキルを持った人材の育成と確保を目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 市内外で富士市の産業や地域課題等を周知し、市内で活動するスタートアップの事業化・成長まで専門家のもと伴走支援するとともに、スタートアップと産官学金の支援者等が交流する場を設ける。また、こども向けにアントレプレナーシップ教育イベントを実施する。					＜富士市版スタートアップ・エコシステムの全体像＞	
	【R8年度事業 経費内訳】＜ソフト事業＞ ○アントレプレナーシップ教育 ・小中学生向け起業イベント（委託料）1,297千円 ○コミュニティ形成支援 ・交流会の開催（委託料）350千円 ・ビジネスマッチング（委託料）770千円 ○アクセラレーションプログラムによる伴走支援 ・伴走支援事業費（委託料）15,800千円 ○市外スタートアップの呼び込み ・地域課題解決型ワークショップ（委託料）1,930千円 ・海外スタートアップ企業マッチング事業（委託料）400千円						
主なKPI	①事業を通じて増加した地域の新規雇用者数（+8人） ②富士市版スタートアップ・エコシステム参加者数（+45者） ③市内で活動するスタートアップ数（市外からの誘致、起業等による新規活動）（+21件） ④新たに起業・創業を目指す人や新たな価値創出に関心を持つ人の数（+320人）					URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1035070000/f-start.html （効果検証） https://www.city.fuji.shizuoka.jp/sangyo/c0302/fmervo000000bv5o.html

事業概要：工場夜景を活用した観光プロモーション及び誘客事業

継続

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	16,511千円 (4,987千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市制施行60周年となる令和8年度に本市に全国工場夜景サミットの開催を誘致することで、本市の工場夜景をさらなる魅力ある観光コンテンツとして成熟させ、市内旅行消費額の増加を図る。 ・民間事業者等が主導する持続可能な事業スキームの構築を図るとともに、シビックプライドの醸成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民の工場夜景への機運の醸成を図りながら、市内外に向けて、富士山がある日本で唯一の工場夜景都市である本市の魅力を再度発信するとともに、本市への観光客を誘客することで、地域経済の活性化を図ることを目的に、工場夜景を活用したプロモーション業務や各種誘客イベント、ガイド養成に関する事業を工場夜景サミットの前後3か年に分け効果的に実施していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】<ソフト事業> ○工場夜景包括プロモーション事業 ・専用ウェブサイト運用・維持管理等（委託料）1,300千円 ○工場夜景見学・撮影ツアー事業 ・煙突ライトアップ（委託料）2,387千円 ・工場見学及び撮影ツアー（委託料）1,000千円 ○おもてなし人材育成事業 ・工場夜景ガイド養成講座（委託料）300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①富士市における宿泊・飲食サービス業の売上額（+3,220百万円） ②工場夜景関連ツアーの催行回数（+30回） ③工場夜景事業への企業参画数（+6件） ④専用ウェブサイトの月平均閲覧数（+15,500回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1005050000/p007712.html

事業概要：公共交通で、観光、生活、教育・研究を多面的に支え、
充実させる地域活性化事業

継続

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	370,939千円 (131,736千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	大規模投資事業を展開する新富士駅・富士駅間において、自動運転技術を活用した新たな公共交通サービス（自動運転バス）の導入により、深刻なバス運転士不足に対応しつつ両駅連携強化を図り、富士山観光を目的としたインバウンド観光客、フィールドワークを本市で行う首都圏大学人材などの移動を効率化し、交流・関係人口創出を図る。加えて、バス路線廃止による交通空白が懸念される富士川西岸地域にて、次世代を担う若者等とともに在り方を検討しながら代替交通を運行し、同地域にある本市最大の観光誘客施設や良好な富士山眺望が可能な拠点と「新富士駅」・「富士駅」・「富士川駅」の公共交通ネットワークを強化することで、観光、生活、教育・研究等多方面から地方創生を推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・新富士駅・富士駅間において、令和9年度のレベル4自動運転バスの社会実装を目指した実証運行を行う。 ・富士川西岸地域等のバス路線を実証運行し、実装(本格運行)に向けた最適な運行内容・経路を検証するとともに、沿線地域や若者と利用促進策に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 自動運転バス、代替路線の実証運行を実施する費用 ・実証運行（委託料）128,836千円 ・ワークショップ開催（委託料）2,900千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①富士市における宿泊・飲食サービス業の売上額（+3,220百万円） ②新富士・富士駅間の自動運転バス及び富士川周辺地域運行バス路線の乗降者（+4,700人） ③フィールドワーク実施人数（+350人） ④利用促進ワークショップ参加者数・発表会来場者数（230人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1040050000/p000978.html https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1040050000/p007737.html

事業概要：高度な外国人材獲得のための受入体制環境整備事業

新規

申請者	静岡県富士市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,490千円 (5,990千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・持続可能な地域を維持するため外国人を含む若者人口の確保。 ・産業界における人材不足解消と本市や市内企業等の認知度・魅力向上、それに伴う高度人材の確保と地域経済の活性化。 ・海外インターナショナルスクール生徒の短期体験プログラム等を実施による、地域産業との交流機会の創出。 ・事業効果による、国内外からの高度人材の増加。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 外国人材との交流企画創出のため、短期体験型教育プログラム（夏季及び冬季）を実施する。これを継続的なものとするため、市内宿泊施設、教育機関、企業等との連携による受入れ基盤を確立し、安全管理、通訳、医療・生活サポート等の体制を強化する。 また、地元企業との交流事業を実施し、企業側の受入れ体制強化を図るとともに、多様な外国人材受け入れのため、副業、インターンシップなどにつなげるための支援を行う。 さらに、本市におけるインターナショナルスクール誘致の実現可能性の調査及び将来的な構想を立案し、海外のインターナショナルスクールとの提携先の検討等を行う。					外国人（富裕層等） インターナショナルスクールプログラム参加生徒等 ↓ 市内企業 市民 教育機関 学生 協議会 経済団体 行政 ↓ 富士市内での短期体験型教育プログラムの実施 ↓ 多様な外国人材の確保	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・短期体験型教育プログラム受入れ・体制整備進事業（委託料）996千円 ・将来的なインターナショナルスクール誘致のための分析及び検討事業（委託料）4,994千円						
主なKPI	①若者人口（+60人） ②市内における専門的・技術的分野の在留資格者数（+300人） ③短期体験型教育プログラム参加生徒数（+50人） ④プログラム参加者による提言数（+60件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fuji.shizuoka.jp/1005050000/p007712.html (令和8年7月公表予定)

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：地域資源×スタートアップによる地域産業クラスター形成事業

新規

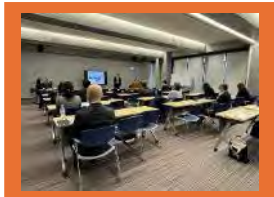
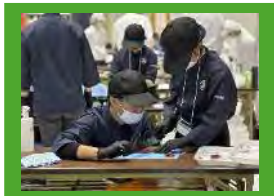
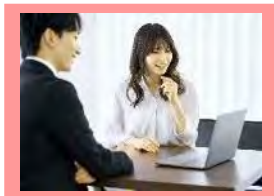
申請者	静岡県磐田市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	45,500千円 (17,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の強固な産業基盤と人材力を活かし、スタートアップ企業との協業を促進することで、新事業の創出と既存産業の革新・高度化を推進し、地域産業のクラスター形成を図る。 ・中小企業等とスタートアップ企業とのマッチングによる地域産業の活性化と市内企業のイノベーションの促進を図る。 ・企業誘致・定着の促進を実現し、本市を『次世代ものづくり・産業革新の拠点』へと発展させ、持続的な経済成長と若者等から選ばれるまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内企業とスタートアップ企業との協業を後押しする補助事業を創設するとともに、補助事業を有効に活用するため、市内企業とスタートアップのマッチング支援や、協業の事業化に向けた伴走支援を行い、クラスター形成に向け段階的に展開する。 シリコンバレーと関連のある海外イノベーション拠点とのネットワーク構築を進め、現地の先端技術や人材の交流を促進、グローバル企業との協業により、クラスター形成に向けた取組を展開する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 スタートアップ企業との共創による地域産業活性化 ・スタートアップ共創型補助金（補助金） 5,000千円 ・いわた共創イノベーション推進事業業務委託（委託料） 9,000千円 地域企業のグローバル展開チャレンジ事業 ・海外展開支援事業業務委託（委託料） 3,500千円						
主なKPI	① 本事業による本市での経済波及効果（+5200万円） ② 本市への企業等定着件数（+8件） ③ 市内企業とスタートアップ企業による協業件数（+15件） ④ 市内企業やスタートアップ企業との面談件数（+120件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年11月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：多様な人財確保支援事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県焼津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	48,945千円 (21,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・人財確保に悩む企業が現状と課題の認識と意識改革を行い、その対策のノウハウを学んだ企業が自ら積極的に対策を講じる流れをつくる。 ・働きやすい職場環境整備の支援及びDX化の導入支援を行うことで、企業の人財確保とともに作業効率の向上を図り、企業の生産性向上につなげる。 ・子ども達を対象とした地元企業の職業体験を通じ、地域愛を育み、将来的に地元で活躍する人財育成を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・企業を対象とした雇用促進セミナーや勉強会の開催 ・DX化の更なる推進のための専門窓口設置 ・市内企業の魅力を知ってもらうための子ども職業体験イベントの開催 ・企業の人財確保や定着に関する取組支援の実施	雇用促進セミナー 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・セミナー等開催経費(委託料) 1,000千円 ・相談窓口設置経費及び事業PR等需用費(委託料) 2,000千円 ・焼津版キッズニア開催経費(委託料) 15,000千円 ・多様な人財確保雇用促進事業(補助金) 3,400千円	子ども職業体験 	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性（+30万円） ②市内企業において新たに雇用した人数（+45人） ③雇用促進セミナー参加者数（+60人） ④国の法令に基づき、働きやすい職場と新たに認定された市内企業数（+3社）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	人財確保・定着等の取組支援 
			窓口設置等によるDX化支援 
		https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html	

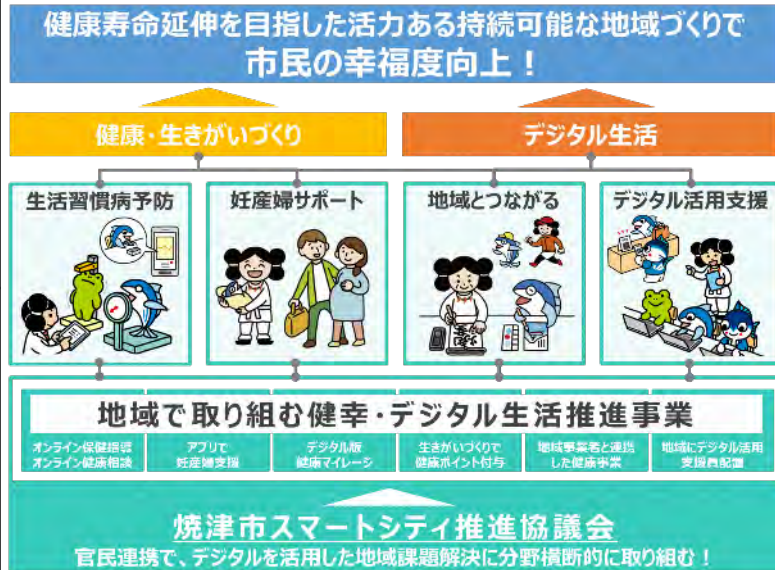
事業概要：焼津型エコシステム構築による関係人口の増大事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県焼津市		初回採択回	令和6年度第2回募集	
事業計画期間	R6-R8年度		期間中の総事業費	91,282千円 (40,600千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	地方への人の流れ	
目的・効果	焼津に関わる関係人口が拡大し、その関りが深化していくことで、地域経済の活性化や移住定住者の増加、さらには焼津がより魅力的なまちへと生まれ変わることにつながり、それがさらなる関係人口の増加につながるといった、これまでにない新しいシステム「焼津型エコシステム（地域経済循環システム）」の構築を目指す。				
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・「①データに基づくマーケティング」、「②地場産品の開発」、「③ファンクラブの運営」、「④移住イベント」といった取組を有機的に組み合わせ、焼津への関りを段階的に成長させることで、移住定住等に繋げていく。 ・また、その過程で、地域産品の販売等による地域経済の活性化を図るほか、ファンや移住者を積極的に巻き込むことで、人が人を呼び、人がまちを魅力的にし、それがまた新しい人を呼ぶ好循環をまきおこす。		各分野における単体サービス利用者よりも、重複サービス利用者の方が、焼津市に対する興味・関心が高い。 ➡データ分析に基づくことで、興味・関心層（＝ファン潜在層）を把握し、アプローチを行っていく。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ①データに基づくマーケティング ・ターゲット設定に向けたデータ分析やデータ活用人材の育成（1,114千円） ・構築した地域ブランドについて潜在層等に向けた認知拡大（4,428千円） ②地場産品の開発（15,669千円） ・市内事業者が新商品の開発を行ったり、WEB物産展を開催する ③ファンクラブの運営、ファン交流（12,594千円） ・ファンクラブ制度を構築し関係性の強化を図る。 ・事業継続の牽引役となる活動の体制づくりを行う。 ④移住イベント（3,000千円） ・ファンを対象とした、交流・体験など移住イベントの開催				
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①社会増（+810人） ②焼津ファンクラブ会員数（+6,000人） ③ふるさと納税寄附者数（+492,000人） ④ふるさと納税寄附金額（+7,837,000千円）		URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・ 効果検証の結果及び改善 方策への反映が記載 されているURL	https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html	

事業概要：地域で取り組む健幸・デジタル生活推進事業

継続

申請者	静岡県焼津市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	110,673千円 (42,867千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域でデジタル技術を活用した健康・生きがいづくりを推進し、健康寿命の延伸や医療費削減を実現することで、持続可能で活力ある地域社会を形成し、市民の幸福度を向上させる。また、市民が身近にデジタルサービスを活用できる環境の定着を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 健康管理アプリやオンラインツールを活用し、生活習慣病の重症化予防や妊産婦支援を目的とした保健指導・健康相談を実施する。あわせて、アプリを基盤に地域事業者と連携した健康・生きがいづくりを展開する。アプリ内でのウォーキングイベントや、地域事業者の協賛品がもらえる健康マイレージ事業、体験型健康増進コンテンツ等を通じて健康行動の継続を促す。また、講習会やアプリ利用の相談対応、広報活動を通じてデジタル活用を支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・デジタルで生活習慣病予防事業経費 3,608千円 ・デジタルで妊産婦をサポート事業 2,486千円 ・地域とつながる「健康」「生きがい」づくり事業 24,420千円 ・地域におけるデジタル活用促進 12,353千円						
主なKPI	①健康な状態で過ごしている人の割合（減少率改善：+0.03ポイント） ②生活習慣病重症化予防効果（医療費抑制：▲0.40ポイント） ③デジタル生活因子平均値（+0.18ポイント） ④健康管理アプリ利用者数（+13,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.calomamaplus.com/yaizu/ https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/digital-dx/smartcity/association.html

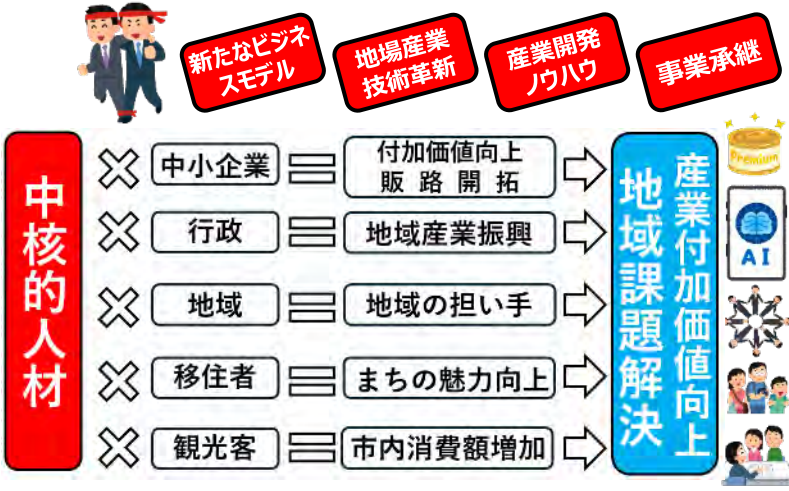
事業概要：「スポーツ・文化・健康・防災」拠点となる新焼津体育館整備事業

継続

申請者	静岡県焼津市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (862,900千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- ハード（新焼津体育館の整備等による元焼津公園周辺の拠点整備をはじめとした、中心市街地における地域資源を活用した7つの拠点整備や、モビリティの活用による回遊性向上等）と、ソフト（ファンクラブの構築等による関係人口の拡大や、二地域居住の推進等）の両面からの取組によって、焼津を大きく変化させ、人口減少社会の中にあっても、関係人口の量的拡大・質的向上と社会増の好循環を実現し、持続可能な地域社会を実現する。 - 体育館の整備にあたっては、既存の体育館にはない新たな設備を整備するとともに、各種ソフト事業を組み合わせることで、単なる市民の体育館利用にとどまらない、多面的な機能を持つ「スポーツ・文化・健康・防災拠点」へと作り替えることで、地方創生2.0基本構想の政策の5本柱の1つ「安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生」を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○新焼津体育館整備事業 - まちづくり拠点の一つ、元焼津公園周辺を、地域資源を活用した文化・スポーツ・交流の拠点として再整備する上での不可欠な事業として、新焼津体育館の整備を行う。 - 新焼津体育館の整備に伴い様々な機能を付加することで、賑わいの創出や、関係人口の量的拡大・質的向上、移住者の増加、安心して働き、暮らせる生活環境の創生等、様々な角度から地方創生に貢献する。					「焼津にぎわい・まちづくり構想」 7つの拠点整備と回遊性の向上による、行ってみたい、住んでみたい、住み続けたいと思われる、ワクワクするまちづくり  新焼津体育館（イメージ図）	
	【R8年度事業 経費内訳】＜拠点整備事業＞ ・建築物本体工事・外構工事 862,900千円 （リノベーション不可な市民体育館について「スポーツ・文化・交流・健康・防災」拠点とするための新築工事）						
主なKPI	①地域の人口・世帯数(社会増)（+1,350人） ②関係人口（+517,415人） ③市内総生産金額（+150億円） ④心身ともに健康だと思う市民の割合（+4%） ⑤地域幸福度指標（Well-Being指標）における、防災対策への評価（+0.8ポイント）					URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/culture-sports/sports/sports-shisetsu/yaizu-gymnasium/new-gymnasium.html

事業概要：ふるさと住民登録制度を活用した中核的人材による産業付加価値向上、地域課題解決事業

新規

申請者	静岡県焼津市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	79,000千円 (26,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ふるさと住民登録制度の導入を契機に、関係人口の定量把握、新たな中核的人材の獲得・育成により、地場産業の継続発展や産業開発・優良事例のノウハウを通じた、産業付加価値向上、地域課題解決を図り、持続可能な選ばれるまち、焼津の実現を図る。 ・少子高齢化、若者の首都圏流出による人口減少社会、地場産業の継続発展に対応するため、関係人口、二地域居住、移住・定住者の増加を目指した事業を強力的に実施し、人口減少の抑制と地域活力の維持を図る。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 ・域外から地域経済の活性化に資する人材（中核的人材）を呼び込むことにより、「なりわいプロジェクト（市内中小事業者や市民と中核的人材のマッチング）」を創出し、新たなビジネスモデル・技術革新・産業開発等の実施により、地域産業の付加価値向上、地域課題の解決を行うための取組を進める。 ・コミュニティ構築（関係人口定量把握システム）や交通・宿泊費パートナーシップ支援を行うことにより、中核的人材の活動を支援し、本市への活動促進や定着を図り、将来的な移住定住につなげる。					 外部より新たに活躍したい中核的人材と地域の関係者がつながり、産業の付加価値向上や地域課題の解決により、まちの魅力が向上し関係人口（二地域居住者・移住候補者）の増加を後押し	
	【R8年度事業 経費内訳】＜ソフト事業＞ ①県外在住者向けイベント開催（9,000千円） ②首都圏事業者、若手事業者チャレンジ環境創出（7,000千円） ③コミュニティ環境創出（4,000千円） ④（仮称）ふるさと住民協議会の構築・運営（2,000千円） ⑤交通・宿泊費パートナーシップ事業（4,000千円）						
主なKPI	①付加価値増加額（+8.4億円） ②地域の人口・世帯数(移住者増)（+812人） ③観光交流客数（+73.80万人） ④ふるさと住民登録者数（+1,500人） ⑤中核的人材と中小事業者によるなりわいプロジェクト立上げ数(+22件)					URL	https://www.city.yaizu.lg.jp/city-info/plan/category_city-info/mirai-soseisogo.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：全市生涯学習学びのキャンパス化事業

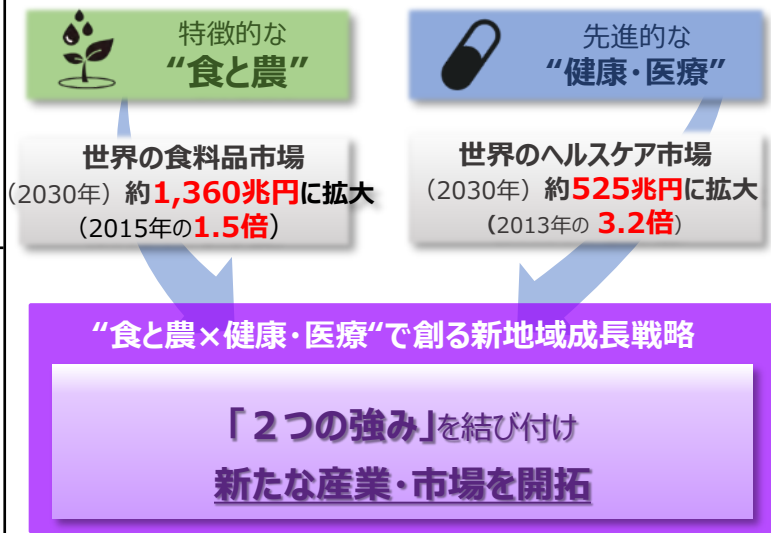
旧制度（推進）

申請者	静岡県掛川市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	26,764千円 (11,055千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・掛川学びの場所100景を選定し、地域の新たな魅力づくり、磨き上げを図る。 ・地域で活躍できる人材の育成を図る。 ・学びの場の活用、地域課題の解決を目的に生涯学習の視点で考える場「未来探求学舎」の創設。 ・スモールモビリティを活用した学びと観光のネットワーク化及び学び塾の開催。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の魅力を伝える掛川学びの場所100景の情報発信とスモールモビリティレンタル事業の活用により、学びの場のネットワーク化を図る。また、学びの場を巡る「学び塾」や、「未来探求学舎」で学びを深め、生涯学習まちづくりを実践する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○学びの場の情報更新及び活用方法の検討・実践 ・「掛川100景」デジタルアーカイブ管理・更新委託料 473千円 ○スモールモビリティを活用した学びの場のネットワーク化 ・スモールモビリティ導入・運営業務委託料 10,000千円 ○未来探求学舎での生涯学習まちづくりの推進 ・学びの場を巡る「学び塾」の開催 168千円 ・生涯学習を通したまちづくりのプラットフォームの運営 414千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①掛川市の人口（▲240人） ②掛川学びの場の設定数（+120箇所） ③学び塾に参加した人数の推移（+120人） ④電動キックボード利用者数の推移（+2,000人）		
	URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL （交付金の具体的な使途・実施体制） https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/734843.html （検証結果） https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/9312.html		



事業概要：“食と農×健康・医療”で創る新地域成長戦略

旧制度（推進）

申請者	静岡県藤枝市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	223,787千円 (56,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	本市の強みであり、世界的な成長分野でもある、“食と農×健康・医療”を基軸とした新たな基幹産業・ビジネスを創出するとともに、産業クラスターを形成し、独自の商品やサービスを生み出し、新たな市場を開拓することで、地域産業の高付加価値化、高度人材の集積、関係・交流人口の拡大、所得水準の向上へ拡充し、さらに、出生数の向上と健康寿命の延伸の達成へとつなげていく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新産業創造プランに基づき、高付加価値企業と市内企業、大学や金融機関等との連携により、新産業（健康生活産業）に資する具体的な新商品や新サービスの創出を目指す。また、市内外の企業や市民等を対象にしたセミナーの開催により、本プランの推進や取組について啓発し、健康生活産業に挑戦する機運を醸成する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ビジネスコーディネーターの設置（委託料）6,500千円 新産業（健康生活産業）に資する新商品・新サービスの開発にあたり、コーディネーターによる伴走支援等を実施する。 ・先導的ビジネス創出の取組支援（補助金）5,000千円 “食と農×健康・医療”を基軸とした新たな産業づくりの“芽”となる先導的ビジネスを展開する企業のビジネス実装に向けた支援を実施する。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+38人） ②働き世代の転入者数（+140人） ③先導的ビジネス取組件数（+11件） ④食と農アンテナエリア内農業法人等誘致件数（+3件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakukeiei/gyomu/1/gyouseisabisu/1530499507804.html

事業概要：地域とアーティストでつくる“ふじえだ陶芸村”構想

継続

申請者	静岡県藤枝市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	147,640千円 (14,500千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・陶芸やアートを活用した地域づくりの推進により、観光客や交流人口・関係人口等を拡大させることで、中山間地域における新たな仕事の創出や地域経済の活性化を図る。 ・アーティストのニーズに応える創作環境を整備し、若手アーティストの移住を促進することで「新たな創作の地」としての地域ブランド確立に向けた基盤を形成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「陶芸・アートを活かした地域づくり」の推進拠点として、陶芸施設、温泉施設、物販施設等で構成される道の駅を整備する。 また、芸術系大学と連携し、本市の歴史や風土を踏まえた「創作の地」としてのブランディング、若手アーティストの移住促進に向けた課題等の研究を行うほか、取組を地域内外に発信するイベントを開催する。					ふじえだ陶芸村構想拠点施設 － 道の駅ゆとりえせとや － 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域づくりアドバイザー委嘱（報償費） 1,000千円 ・芸術系大学等との共同研究（委託料） 5,000千円 ・陶芸村構想の発信・PR（需用費・役務費） 1,000千円 ・アーティストの滞在制作活動（委託料） 4,500千円 ・アートイベントの開催支援（補助金） 3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中山間地域の交流人口（+172,200人） ②中山間地域への市外からの移住者数（+55人） ③陶芸村拠点施設の利用者数（+152,200人） ④中山間地域で活動する芸術家数（+10人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakukeiei/gyomu/1/gyouseisabisu/1530499507804.html

事業概要：地域資源と人材の活用・結合による藤枝発イノベーション創生事業

新規

申請者	静岡県藤枝市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	110,600千円 (69,400千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 本市の中心市街地に新たに誕生する再開発複合ビルに、「産業づくり」と「人づくり」の中核拠点となる「(仮称)藤枝インキュベーションセンター」を整備し、地域資源と人材を活用・統合した藤枝発のイノベーションを創出する。 - 新産業創造を牽引するビジネスの創出や地元企業のDX化、次世代人材の育成などを通じて、若者の定着と関係人口の拡大を図り、人口減少社会においても持続可能な強い地域経済の成長へと繋げていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 基幹産業の不在と市内企業のDX化の遅れ、若年層の転出超過などの課題に対応するため、地域発のスタートアップの創出・育成に向けた伴走支援や企業の実情に応じたDX化支援、大学の有する教育機能等知的資源を活用した人材育成等の取組を実施する。 また、「学」が主体となり、これら事業を展開する場としてインキュベーション機能を有する中核拠点を整備し、「産業づくり」と「人づくり」を一体的に推進する。					(仮称) 藤枝インキュベーションセンター (イメージ) 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・スタートアップの育成や新ビジネス創出を支援（委託料）5,200千円 ・伴走支援による地元企業のDX化を推進（委託料）5,000千円 ・大学の専門的な知見を活用した人材育成（補助金）3,000千円 ○拠点整備事業 ・(仮称)藤枝インキュベーションセンター整備 50,000千円 整備規模：826.71㎡ 整備主体：学校法人大正大学						
主なKPI	①新規創業者数（+117人） ②20代の転出超過数（▲12人） ③中心市街地における歩行者通行量（+1,535人） ④市内企業のDX化により業務を効率化し削減された年間時間数 (300時間)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikakukeiei/gyomu/1/gyouseisabisu/1530499507804.html

事業概要：（仮称）二子パーク整備事業

新規

申請者	静岡県御殿場市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	510,789千円 (204,316千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	「（仮称）二子パーク整備事業」は、若者や子育て世代にとって魅力的な新たな観光拠点となり、これらの世代に市内を周遊してもらうことで市内滞在時間の増加を図ることを目的としています。 この施設整備により市内への観光交流客の増加が期待されると同時に、アーバンスポーツとアグリツーリズムの相乗効果によって双方の認知を向上させることにより、地域の農家民宿や地場産業への誘客を促進することで、地場産業の付加価値向上や販路開拓を支援します。これらの取り組みにより、地域経済の活性化ならびに市内観光消費額の増加を目指します。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たなスポーツの拠点として、自転車、スケートボード、BMX、MTBなど多目的に利用が出来る総合的なアーバンスポーツ施設を整備する。 市内のアーバンスポーツ競技者やビギナーを始め周辺市町からの広域的な利用も含め幼児から高齢者まで全ての人がスポーツを通じて御殿場の自然や文化を体感し学び、高付加価値な体験ができる施設を創出する。施設整備による来訪者の増加、市内回遊の拠点と位置づけ地場産業への経済波及に寄与する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建物本体工事（電気、機械、仮設等） 23,337千円 ・造成、公園整備工事（現場管理、直接工事等） 175,424千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光交流客数（+330万人） ②市内旅行消費額（+44,000百万円） ③市内宿泊者数（+35万人） ④関係人口・交流人口の増加量（+8,000人） ⑤二子パーク利用者数（+4万人） ⑥イベント開催数（+208回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.gotemba.lg.jp

申請者	静岡県袋井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	85,303千円 (33,700千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「若者や女性に選ばれるまち」として、若者や女性が出会いや気づきにより「楽しい」と思えるような環境や、市で「チャレンジしたい」と思われるようなエコシステムの構築により、新たな人の流れをつくり、関係人口の増加に取り組む。 「起業しやすいまち」として、若者や女性をはじめ、起業を志す方と、首都圏のスタートアップや市内外の成長を志す事業者等との交流機会を促進し、新たなネットワークの構築により、起業しやすい環境の整備に取り組む。 「都市と地方がともに成長する地方創生2.0モデル地域」として、市内大学と連携し、新結合を通じた新産業へのイノベーションを生み出し、首都圏をはじめ、他地域のエコシステムとつながり、都市と地方がともに成長するモデルの創出に取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内中小企業等の経営力の向上や経営基盤の強化などにより、地域の稼ぐチカラの向上に向けて、本市の強みである産学官連携により構成される「ふくろい産業イノベーション推進協議会」を最大限活用し、新産業創出に向けたイノベーションの推進、中小企業の生産性向上（DX）の強化、創業支援の強化などに加え、若者が地方で挑戦・活躍できる環境を創出する。					多様な主体が集い繋がる 「エコシステム創出拠点」  オープンイノベーションの推進	
	【R8年度事業 経費内訳】 ＜ソフト事業＞ ○地方発新産業の創出に関する事業 ・「エコシステム創出拠点」の運営に関する経費 5,000千円 ・産業連携コーディネーターの設置に要する経費 7,000千円 ・地域企業と大学との共同研究開発に関する経費 3,000千円 ・スタートアップ支援（創出・連携）に関する経費 5,000千円 ・市内中小企業のデジタル化を推進する経費 1,500千円 ・新たなステップアップへの支援に要する経費 3,000千円 ・創業希望者や創業間もない方を支援する経費 1,800千円 ・スタートアップ等域外企業とのネットワーキングに要する経費 4,600千円 ○若者が地方で挑戦・活躍できる環境の創出に関する事業 ・子どもたちの職業観を高めるキャリア教育に係る事業 1,100千円 ・社会人等採用を推進するために要する経費 1,700千円						
主なKPI	①製造品出荷額等（+227.02億円） ②静岡理科大学と市内企業の共同研究件数（+12件） ③市・商工団体・金融機関の支援による創業件数（+81件） ④市内高校・大学の就業率（+0.00%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/4/2/3/12283.html

事業概要：袋井N E X Tツーリズム2.0における新たな観光客開拓と高付加価値化への取り組み

継続

申請者	静岡県袋井市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	33,980千円 (11,060千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的（効果）	・市総合計画及び市観光基本計画で目標としている年間観光交流客数500万人の達成を目指し、主要観光コンテンツのさらなる発信や新たな観光コンテンツの開発、効果的なセールスにより新規の観光客の開拓を図る。 ・市観光基本計画で目標としている土産物・買い物・飲食代の日帰り観光客一人あたりの旅行消費額単価5,600円の達成を目指し、観光客の市街地への周遊を促し、市内での買い物や食事を促進させることで、旅行消費の増加につなげる。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 「遠州三山風鈴まつり」や「ふくろい夜宵プロジェクト」、「可睡齋ひなまつり」などの本市の主要観光コンテンツのさらなる発信や新たな観光コンテンツの開発、効果的なセールスにより新規の観光客の開拓を図る。また、地域内での消費を喚起するため、複数店舗を回遊する仕組みを中心とした買い回り促進事業を実施する。					袋井NEXTツーリズム2.0 ～次世代ツーリズムへの挑戦～  【サイクルツーリズム】 【可睡齋ひなまつり】	
	【R8年度事業 経費内訳】<ソフト事業> 新たな観光客開拓と高付加価値化への取り組み ○ふくろい観光ルネッサンス事業：9,560千円 ・新たな手法による情報発信：2,395千円 ・ふくろい夜宵プロジェクトのさらなる展開：1,500千円 ・観光の高付加価値化へ向けた新コンテンツの開発：2,760千円 ・既存の取り組みのさらなる展開：1,905千円 ・海のにぎわい創出事業：1,000千円 域経済活性化の取り組み ○デジタルスタンプラリー事業 ・デジタルスタンプラリー事業委託料：1,500千円						
主なKPI	①観光交流客数の増加（＋3万人） ②日帰り観光客一人あたりの旅行消費額（観光地での直接ヒアリング方式）（＋300円） ③ホームページ及びSNSへのアクセス件数（＋3万件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/4/2/3/12283.html

事業概要：伊豆の国市新市民交流センターによる多世代交流拠点整備事業

新規

申請者	静岡県伊豆の国市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	95,700千円 (95,700千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・閉園する幼稚園を地域資産として再生し、人的資本への積極的な投資を通じて、本市経済を維持・拡大するための持続可能な産業基盤を構築する。 ・子育て環境の劇的な向上による「現役世代の労働力確保・離職防止」と、次世代へのキャリア教育による「地元産業を支える担い手の育成」を一体的に推進。多世代の交流を地域の活気から「産業の活力」へと転換し、地場産業の競争力強化と、将来にわたり稼ぎ続けることができる自立した地域経済都市の実現を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和7年度末に閉園する田京幼稚園を有効活用し、多世代交流拠点「伊豆の国市市民交流センター（仮称）」を整備する。本施設は、地場産業が集積する立地特性を最大限に活かした「地域経済再生のプラットフォーム」であり、事業者間の連携やビジネスマッチングを促進する「産業共創の機能」に加え、「こども広場」等の整備を通じて子育て世代の就業継続と定住を支える「労働力維持の機能」、さらには「小中高生活動スペース」での交流を通じて将来の地元産業の担い手を確保する「次世代育成の機能」を一体的に運用するものである。 こうした多様な主体の交わりから生まれる新たな知見や活動を、地域産品の高付加価値化や新事業創出へと直接的に結びつけることで、地域経済の持続的な発展と拡大を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物整備経費 2,823千円 ・設備整備・用地造成等経費 86,576千円 ・備品整備経費 6,301千円						
主なKPI	①転入超過数（+50人） ②イベント参加者数（+100人） ③年間施設利用者数（+2,664人） ④多世代交流拠点施設を活用する企業・民間団体数（+8団体）					URL	https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/kikaku/chihouseisei/tiikimirai.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：歴史文化をフックとした滞在型観光の推進による高付加価値向上事業

新規

申請者	静岡県伊豆の国市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	40,042千円 (9,565千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 世界遺産「韮山反射炉」の歴史文化資源に先端技術資源（特命大使等）を掛け合わせ、通過型観光を滞在・体験型へ転換し、来訪回復を地域内消費の拡大に結び付ける。 - 周遊・滞在の促進と高付加価値な体験／産品展開により地場産業の付加価値向上と販路拡大を図り、民間自走の運営体制へ移行して持続的な経済循環を構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歴史文化資源を核に周遊環境を整備し、先端技術資源（特命大使等）を案内・演出に活用しつつ、2026年開館予定の「伊豆の国歴史館いずしる」と連動したツアーや没入感のある体験コンテンツを開発して滞在時間の延伸を図る。あわせて、デザイン活用制度の整備とワークショップ・PR動画等により高付加価値な「コト消費」と地域産品展開を拡大し、持続可能な観光・産業基盤を構築する。					   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・工事請負費（デザインマンホール、観光案内看板・誘導標識）5,626千円 ・印刷製本費（ツアー、検証に係る経費）1,913千円 ・施設借上料（体験型コンテンツ造成・実証にかかる経費）66千円						
主なKPI	①観光消費額（+16.4億円） ②世界遺産「韮山反射炉」来館者数（+13,000人） ③地域産品・関連サービスの開発件数（+15件） ④情報発信コンテンツの接触件数（閲覧数）（+2,000回）					URL	https://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/kikaku/chihou_sousei/tiikimirai.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：大河ドラマを契機とした観光振興及び郷土愛醸成促進事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県牧之原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	28,200千円 (5,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	観光分野	観光分野
目的・効果	・従来からの誘客資源である食やマリレジャーに加え、「歴史・文化資源」を新たな地域資源の柱として当市への観光誘客の多様性を図り、交流客数、消費単価の増加につなげる。 ・郷土の偉人「田沼意次侯」の大河ドラマ登場により、全国的な注目度や関心が高まるこの機会に、他の自治体にはない、当市独自の歴史・文化資源を情報発信し、他地域との差別化を図り、観光誘客につなげる。 ・大河ドラマを契機に、より一層「田沼意次侯」の功績顕彰につなげ、ゆかりの地に住む市民の郷土愛醸成を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大河ドラマを契機に田沼意次侯ゆかりの地を訪れる来訪者への情報発信と市内周遊を促進させながら、来訪者の情報収集とデータ分析・共有による新たな商品やサービスの創出につなげるため、アプリの運用を行う。過年度に収集したデータや成果をから、滞在型・周遊型の観光ツアー商品として完成させ、ツアー商品として売り込んだり、ふるさと納税の返礼品として活用する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタル技術を活用した市内周遊促進事業 アプリ運用費：500千円 ・歴史・文化資源を活かした商品開発支援事業 冊子またはパンフレット製作：200千円 ・魅力あるツアー商品造成事業 データ分析及びツアー造成（委託費）：5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+20億円） ②専用ホームページの閲覧数（+25,000人） ③市史料館の入館者数（+35,000人） ④歴史文化に関連した商品開発数（+20件）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/soshiki/45/

相良城址石碑と田沼意次銅像

事業概要： 静岡沿岸部への観光誘客と周遊促進拠点整備事業

継続

申請者	静岡県牧之原市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (160,500千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「海岸線とサーフィン」を活かしたエリアの活性化に、民間と連携して計画的に取り組み、海水浴場などの魅力や利便性を更に高めるとともに、プロや本格的にサーフィンをする人だけでなく、ビギナーやサーフィンを含めた海辺の環境を好きな人たちをメインターゲットとして、幅広く交流人口を呼び込む環境づくりを図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存の利用者やサービスと相性が良く、災害時には避難所となる、3階建ての飲食、温浴、交流が複合した施設を整備する。また、観光客や地域住民が移動手段として利用できる新たなモビリティを、周遊性を高めるために、地域情報が集約したアプリケーションと組み合わせ導入を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・電動バイクや観光DXの具体的な導入 観光DXシステムの導入及び電動バイクとのシステム連動及び開発経費（補助金）5,000千円 ・エリアの魅力を発信するためのPR動画の作成事業（委託料）1,000千円 ・アクションプランに基づく電動バイクの導入促進、観光DXの推進 電動バイクの導入費（補助金）4,500千円 ○拠点整備事業 ・複合施設の実施設設計（間接補助）150,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+1,007,031千円） ②地域における宿泊収入（+577,500千円） ③エリア内の新規雇用による従業員の給与額（+116,500千円） ④サーフポイントとしての認知度（サーフライフのランキング）（+7位）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	R8.9末までに公開予定

事業概要： 静波沿岸部における地域産業・生活環境の創出拠点整備事業

継続

申請者	静岡県牧之原市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,025,900千円 (5,300千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・静波海岸の自然環境を活かし、海辺の景観や穏やかな時間の流れをスポーツや食事、交流を通じて楽しめる魅力ある生活スタイルを創出し、ナショナルチェーンなどが建ち並ぶ鉄道沿線とは異なる生活産業や、風土・文化のあるエリアをつくる。 ・エリア全体で若者世代を中心とした地域住民の定住意欲を高める環境づくりを実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スケートボードロードをテーマとした公園を建設し、沿道にスタートアップやリアカーゴ・キッチンカーなどの事業者が出店できるような、販売できる場所の整備を行う。地域住民の生活を豊かにさせ、継続的なまちの運営を可能にさせる新たな産業の生まれる環境を整備する。また、地域住民が公園と一体的に活用できる、水浴施設を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域事業者との実践イベントを併せて開催することで、事業者の出店ノウハウの獲得や施設整備後の利用促進を図る。 イベント開催費 300千円 ○拠点整備事業 ・公園施設の実施設計 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①静波区の人口増加数（+300人） ②サーフィンを目的とした移住者数（+50人） ③公園エリアへの利活用事業者数（+7,710店） ④市民意識調査における今後居住継続意向割合の増加（+3.2%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	R8.9末までに公開予定

申請者	静岡県牧之原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	195,700千円 (20,200千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 地頭方海浜公園内において、宿泊機能や体験型観光機能の脆弱性を解消し、自然豊かな環境を活用した新たな観光産業を創設し、観光消費額の増加を目指す。 - 地域内外問わず公園利用者の利便性を向上させ、ファミリー層の利用による、長期的な利用を呼び込み、継続的な交流人口の増加、地域経済活動の拡大に繋げる。 - 将来的には、アウトドア・マリンレジャーと連携して、地頭方港で水揚げされる魚介を活用し、地場食材による食品の開発による、新たな地場産業を興しも実施し、地場産品の消費の拡大に繋げていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地頭方海岸は、静波のようにサーフィンなどの波の高さが必要なマリンスポーツに適した海岸とは異なり、ジェットスキーやSUPに適した穏やかな波と静かな環境が特徴である。それらの環境を活かし、キャンプおよびマリンレジャーを中心としたアウトドア拠点を整備することに加え、公園機能を向上させることにより、地域の宿泊や滞在型観光機能や体験機能の脆弱性を解消することで、地域資源を最大限活用した新たな観光産業を生み出す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 拠点整備後に向けて、地域外から人を呼び込み、公園利用を促進させるイベントへの補助 200千円 ○拠点整備事業経費 地頭方海浜公園内におけるキャンプ場・マリンレジャー拠点の実施設計 20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額の向上（＋49,000千円） ②公園への来場者数（＋20,000人） ③イベントの開催回数（＋10回） ④キャンプ場における宿泊客数（＋7,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9.9末までに公開予定

事業概要：海業による地域産業再創出・ネイチャーポジティブ推進事業

新規

申請者	静岡県西伊豆町					初回採択回	令和8年度第1回募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	190,300千円 (61,100千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、沿岸海域の環境回復（ネイチャーポジティブ）を基盤として、釣り・漁業体験等の海業コンテンツを高度化・体系化し、観光消費の拡大と地域産業の持続性向上を図ることを目的とする。 環境改善と体験型観光を一体的に推進することで、来訪者の滞在価値を高めるとともに、漁業者・観光事業者の新たな収益機会を創出し、海業の自立的な展開モデルの確立を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 沿岸海域の環境回復を基盤として、釣り筏等の海業拠点整備を行うとともに、釣り体験・漁業体験等の海業コンテンツを構築・高度化する。併せて、ガストロノミーリズムと連携した体験型観光プログラムの展開や、環境改善活動への住民・来訪者の参画を促進し、企業版ふるさと納税等の外部資金を活用した持続可能な海業モデルの確立を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ①海業推進コンテンツの構築と実施（委託料）22,400千円 ②釣り教室イベント実施（委託料）3,200千円 ③モニターツアー等の実施運営（委託料）4,400千円 ④技術支援アドバイザー業務：大学連携（委託料）1,100千円						
主なKPI	①海業関連観光消費増加額（+42,000千円） ②海業体験・参加者数の増加（+4,200人） ③水産物の地域内消費循環量（+800kg） ④ネイチャーポジティブ活動参加者数（+300人）					URL	令和9年9月頃の公表を予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：産官学連携地域活性化事業

旧制度（推進）

申請者	静岡県清水町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	4,682千円 (1,000千円)
事業タイプ	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への流れ分野
目的・効果	・若年層に対し、創業・マーケティングの基礎知識習得や起業家・町内企業との交流の機会を提供する。 ・若年層が地元で就業・創業・起業する機運を醸成し、若年層の東京圏への流出を抑制する。 ・若年層の地域への愛着形成及び地元企業・店舗の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○産官学連携事業「沼商屋」 ・地元企業との商品開発やマーケティング・広報戦略等の特別授業のコーディネート委託する。 ○町の課題解決事業 ・地域課題解決の提案である「清水町企業図鑑」をより周知・活用するためのアイデアとして受けた事業を実施する。 また、事業実施にあたっては、清水町企業図鑑に掲載されている企業に学生がフィールドワークを行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「沼商屋」地元企業との商品開発やマーケティング・広報戦略等の特別授業のコーディネート費用 1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（+30人/年） ②町出身者の町内及び近隣市町の企業等への就職意向率（+8.9%） ③連携事業者数（+9者）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方 策への反映が記載され ているURL https://www.numashop.site

事業概要：地元の恵みを未来へつなぐ食を核とした地域経済活性化プロジェクト

継続

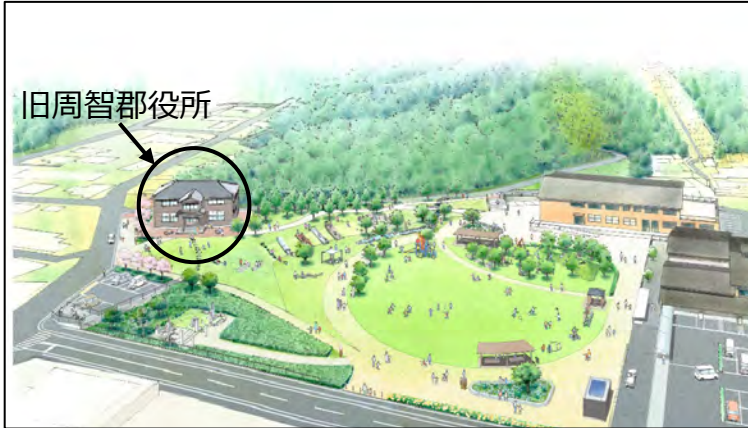
申請者	静岡県小山町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	296,662千円 (13,847千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	旧こども園舎を改修して、水産加工ラボやジェラートラボなどの調理、加工等の6次産業化をすすめる農林水産物加工室や、飲食物の提供や販売を行う物販施設、地域住民が気軽に交流し楽しめる地域交流スペース、イベントスペース等の機能を併せもった施設を整備し、魅力的な地場産品の開発・販売や食の提供等を通して町内農業者・事業者の所得向上を図るとともに、町内観光施設へも横展開を図りながら消費額の増加させるなど、町内各地へ経済波及効果と賑わいをもたらす拠点施設とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 JR御殿場線の駅と役場本庁付近の旧市街地エリアにある旧こども園舎を改修し、農林水産品の加工や販売等の機能及び地域住民が気軽に交流し楽しめる地域交流スペースやイベントスペースを整備し、地域経済の活性化を図り、中心市街地に賑わいを創出する。					 イメージ図	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 旧こども園の改築し複合施設へと整備する費用 高圧電気設備を新設する費用 合計 13,847千円					 イメージ図	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+35,700千円） ②観光施設等での活用額（+85,000千円） ③ふるさと納税寄付額（+330,000千円） ④農業活性化への町民満足度（+16%） ⑤商業地づくりへの町民満足度（+40%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公開予定

申請者	静岡県川根本町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	4,405千円 (1,439千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・自然豊かな自然環境、観光資源や農業資源の特性を活かし、多文化共生を推進することで、地域の活性化を図る。 ・将来的には、川根本町に多様な文化が共存し、地域住民と外国人住民が相互に理解し合い、協力し合う社会を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域活性化として、地域住民の多文化共生意識の醸成や、地域全体で外国人材を支援する。また、外国人材が抱える課題を解決できる土壌づくり、外国人材の地域住民への認知度向上等、住みやすい地域づくりに資する取組を展開する						
	【R8年度事業 経費内訳】<ソフト事業> ○外国人材を地域全体で支援する仕組みの検討と立上げ ・事業費 1,001千円 主な取り組み： ・やさしい日本語教室の開催とトレーナースキル講座（前日2回） ・やさしい日本語教室参加者の認定制度検討 ・県の制度活用による防災・医療の多言語対応 ○地域住民と外国人材の交流事業 ・事業費 482千円 主な取り組み： ・交流イベント開催					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①当町への転入者数（増加が目標）（+30人） ②当町から転出者数（減少が目標）（▲50人） ③多文化共生イベントの参加者数（+4人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年7月公表予定 （効果検証） 令和8年7月公表予定

事業概要：歴史文化・観光交流拠点整備事業

新規

申請者	静岡県森町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	497,681千円 (196,143千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「通過型観光」からの脱却を図るため、森町が持つ地域資源や潜在的価値を活かした「歴史文化・観光交流拠点」を新設・整備することにより、本町の地域産業全体の付加価値を向上させ、雇用創出や若者の定住促進を図る。 ・官民連携コンソーシアムが事業に関わることで、インバウンド誘客や周遊観光促進を図るとともに、町内に点在する地域資源を面的につなぐことで、滞在時間の延伸による観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・町の中心部に位置する公共施設跡地に、国の重要無形文化財「遠江森町の舞楽」や「遠州森のまつり」等、地域で愛されている伝統・文化の展示・体験・学習機能を有する拠点を整備する。 ・施設内に町の特産品である「遠州森の茶」を提供する茶寮（日本茶カフェスペース）を整備し、民間事業者との連携により、「遠州森の茶」ブランドのブラッシュアップ、商品開発、及び海外需要を含めた販路開拓を推進することにより、新たな魅力を創出・発信し、インバウンドを含めた、新しい森町ファンを創出する。 ・町中心部への拠点整備により、中心市街地の活性化を図るとともに、本拠点へのレンタサイクルや電動カートの導入により、町中心部の周遊にもつながっていく。					歴史文化・観光交流拠点整備イメージ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・実施設計（準備、仮設、基礎等） 13,200千円 ・建築物本体工事（建設、電気、内装等） 182,943千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（+2.73億円） ②整備拠点の年間来場者数(+20,000人） ③町内の宿泊客数（+3,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

申請者	静岡県森町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,000,288千円 (37,573千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・遊休地を活用した多世代交流拠点の整備により、不足していた「遊び場」と「健康づくりの場」を創出し、住民の暮らしの質向上と若者世代の移住定住促進、人口の社会増を目指す。 ・住民が慣れ親しんだ歴史的建造物を日常的な憩い・体験・学びの場として再生することで、地域資源と暮らしを融合させ、次代を担う若者の町へのシビックプライド醸成につなげる。 ・交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ることで、持続可能な地域社会の構築を目指す。 以上の3つの視点から地場産業（観光業・商業・農業）の付加価値向上と経済規模の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者の定住を阻む「遊び場の不足」や「地域資源との分離」を解消するため、旧周智高校跡地に大型遊具や広場を備えた多世代交流拠点「リノベーションパーク」を整備する。 また、敷地内に歴史的建造物「旧周智郡役所」を移築し、カフェや地域の学び場を備えた新たな居場所として再生する。					リノベーションパーク整備イメージ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・実施設計（移築工事実施設計委託業務、解体、仮設工事等） 37,573千円						
主なKPI	①人口の社会増減（+100人） ②住民アンケートにおける「町への愛着を持つ人」の割合（+5.2%） ③整備拠点の年間延べ利用者数（+50,000人） ④本拠点を活用したイベントの開催回数（+120回）					URL	令和8年7月公表予定
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：森町教育移住・二地域居住推進事業 ～教・職・住が連動する空き家再生と地場所得向上モデル～

新規

申請者	静岡県森町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,235千円 (10,350千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	森町の基幹産業である農業・観光業の持続性確保に向け、外部の高度スキルを注入することで「生産性の向上」と「稼ぐ力の最大化」を図る。 ・地域固有の資源に、都市部人材の知見を掛け合わせることで、既存の「モノ売り」を「体験価値・サービス」へとアップデートし、商品単価および付加価値の向上に直結させる。 ・デュアルスクール等の仕組みを通じて、デザインやデジタルに精通した専門的人材や子育て世帯を継続的に供給し、事業者との共創による具体的な「付加価値増加額」の創出を目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 深刻化する空き家問題と基幹産業の生産性停滞を解決するため、「多地域就学（デュアルスクール）」と「空き家拠点化」を連動させ、都市部人材を世帯単位で呼び込むソフトインフラを構築する。彼らの外部知見（デザイン・DX等）を地場産業に注入し、既存資源を「高付加価値な体験サービス」へ再定義する「森町版ゆるくるキャンパス」を実施。将来的に、サービス手数料と拠点収益により補助金に依存せず自走する、持続可能な地域経済循環を確立する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域資源×外部人材スキルによる体験型コンテンツの造成事業（委託料）4,400千円 既存産品にデザイン・DXを導入し、体験型サービスへ展開し販路定着を図る ・デュアルスクール（多地域就学）受入基盤整備事業（委託料）3,850千円 教育と連動した長期滞在フロアの構築及び運営ノウハウの地域承継 ・職住一体型・創業滞在拠点整備事業（委託料）2,100千円 複雑な空き家の流通促進および滞在拠点としての運営支援						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を契機とした「二地域居住者・移住者」の創出数：（+16人） ②デュアルスクール（多地域就学）制度の利用世帯数：（+6世帯） ③ローカルビジネス伴走支援による「関係人口の参画」数：（+8人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定